

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	1	1	生涯学習	学習機会・内容の充実
実施計画事業名					
文化会館主催事業					

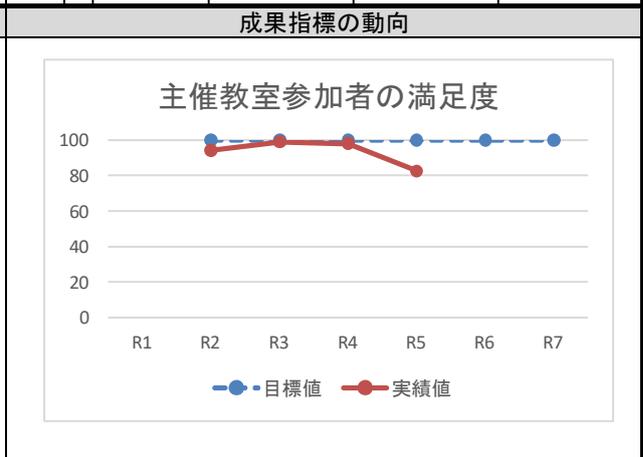
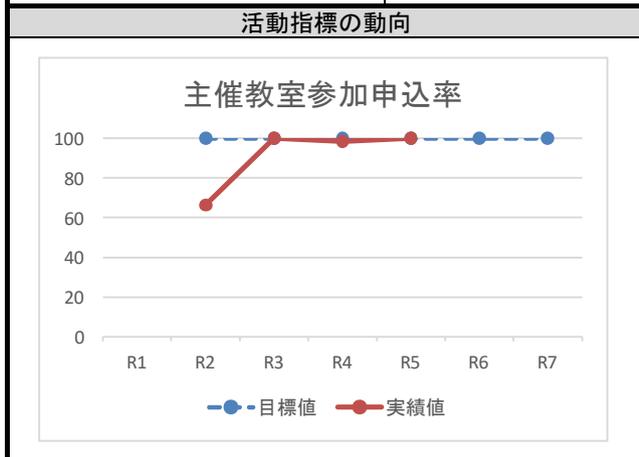
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	06	03	文化会館主催事業	
担当課・係等					
東部台文化会館 管理事業係					

実施計画整理番号	
101010102	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要(PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民の文化活動を支援し、教養の向上を図るための講座や事業を充実させる。また、外房地区に映画館のない現状のなか、市民の身近な施設で上質な映画を定期的に提供することにより、文化活動の拠点となるようにする。	多様なニーズにあった主催教室を実施する。主催事業として、上質な映画を定期的に上映する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市民の学習ニーズの多様化や主体的な学習意欲の高まりに伴い、効率的な主催事業運営に努める必要がある。各世代の多様なニーズにあった主催事業を拡充することにより、市民の教養の向上、健康の増進を図ることで、市民の満足度向上につなげ、ひいては施策「学習機会・内容の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	844	844	838						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	215	215							
	一般財源	千円	629	629	838						
	人工数	人		1.65		-					
	人件費	千円		11,452		-					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
主催事業でのアンケート等を活用し、各世代の多様なニーズにあった主催事業の充実を図ることで、参加申込の向上に努める。	主催教室参加申込率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	98	100	-	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
市民の文化活動の支援並びに教養の向上や健康の増進を図るための講座や事業を充実することで、参加者の満足度の向上につなげ、文化活動の拠点となるようにする。	主催教室参加者へのアンケートで「大変満足・満足」と答えた割合	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	98	83	-	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	1	1	1	文化会館主催事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	06	03	文化会館主催事業

整理番号
101010102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>・主催教室の代わりに、自主クラブ公開講座を実施した。内容は、ヨガ教室、手編み教室、ハーモニカ教室、琴教室、ウクレレ教室を各1回ずつ、計5回実施し延べ参加者数15名であった。</p> <p>・映画会は、令和6年10月18日(金)に1作品を2回上映し、延べ来場者数247名であった。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>・自主クラブ公開講座は、各自主クラブに公開講座の募集について打診したのち、広報令和7年2月15日号にて募集をかけたため年度末の実施となった。</p> <p>・募集期間が短かったため、参加人員が少数であった。</p> <p>・映画会は、上映作品について市民ニーズの把握が必要となる。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	②アウトソーシングの活用
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・包括連携協定を結んでいる民間業者による公開講座を活用する。</p> <p>・映画会は、アンケート等により市民の上映作品に関するニーズを把握し、文化、教養の向上に資するよう更なる充実を図っていく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>自主クラブ公開講座開催時の課題を踏まえ、包括連携協定を結んでいる民間業者による公開講座を活用にあたっては、募集期間や開催回数などを検討するとともに市民ニーズに基づいた方法及び効果的な情報発信方法の検討に努めていただきたい。</p>

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	1	1	生涯学習	学習機会・内容の充実
実施計画事業名					
公民館学級運営費					

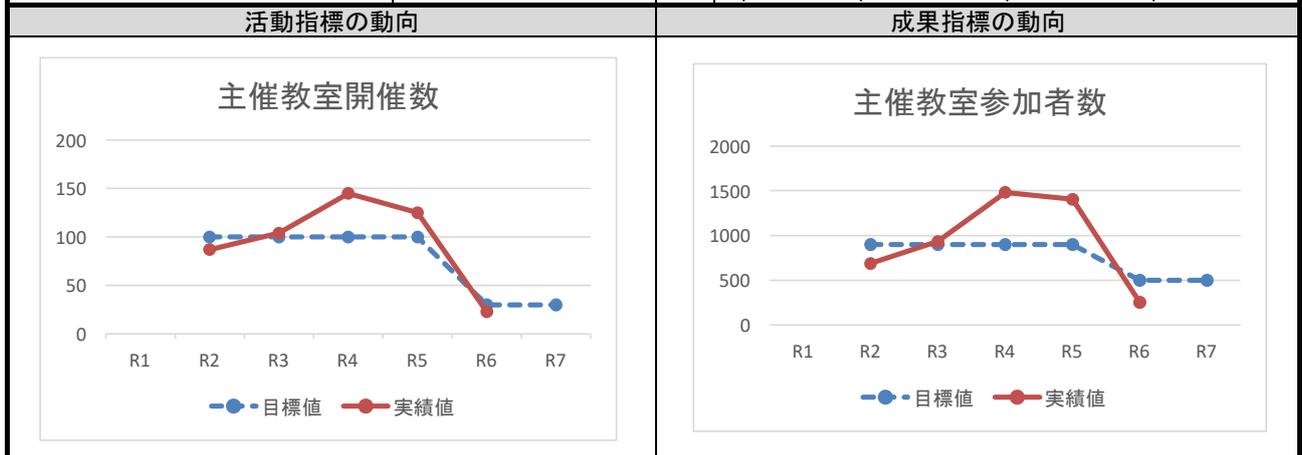
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	02	01	中央公民館学級運営費 本納公民館学級運営費 鶴枝公民館学級運営費	
担当課・係等					
中央公民館					

実施計画整理番号	
101010103	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>市民を対象(市内在勤を含む)に、各種教室を開催し、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及びグループの活性化に寄与する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館(中央、本納、鶴枝)では主催教室として女性、成人、少年を対象に25教室を開催する。 ・公民館運営審議会を開催する。 ・広報等により各種教室の情報発信を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
<p>各世代が生きがいを持って学ぶことのできる主催教室を開催することにより、施策「学習機会・内容の充実」に寄与する。</p>		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,000	1,000	712						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,000	1,000	712						
	人工数	人	1.8			0.5					
	人件費	千円	12,205			3,992					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
新規の主催教室を企画し、開催回数を増やすことで学習機会の拡充を図る。	教室等の情報発信数	目標値	9	9	6	6
		実績値	14	12	10	
	主催教室開催数(3館合計)	目標値	100	100	30	30
		実績値	145	125	23	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及びグループの活性化が図られる。	主催教室参加者数(累計)	目標値	900	900	500	500
		実績値	1,483	1,406	255	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	1	1	1	公民館学級運営費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	02	01	中央公民館学級運営費 本納公民館学級運営費 鶴枝公民館学級運営費

整理番号
101010103

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

各公民館(本納・鶴枝)では、女性、成人、少年を対象に主催教室(講師無料)や民間(企業など)との共催の講座を開催した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

講師無料で開催可能な講座については、講師確保に苦慮する他、メニューが限られるため、多様化する市民ニーズに応えるのは難しい。また、開催回数が減ったことにより、参加者数も減少している。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	②アウトソーシングの活用

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

参加促進を図るため、受講ニーズのアンケートを実施するとともに、無料で開催可能なメニューの開拓を行っていく。

企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当 受講ニーズのアンケートを実施するとともに、関係各所や包括連携協定を結んでいる民間業者による公開講座など、無料で開催可能な内容の検討に努めていただきたい。

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	2	1	生涯学習	生涯学習体制の強化
実施計画事業名					
生涯学習推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	01	02	生涯学習推進事業	
担当課・係等					
生涯学習課 生涯学習係					

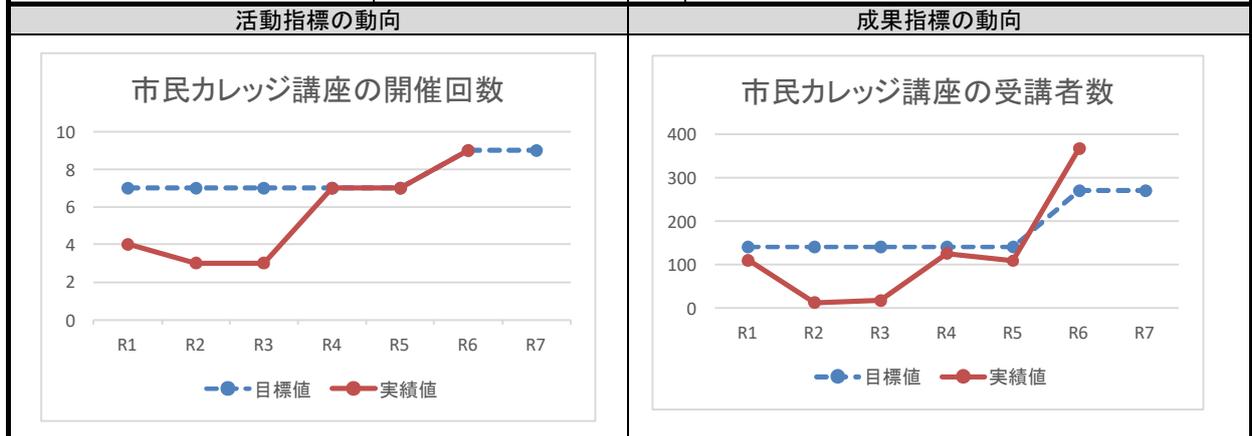
実施計画整理番号	101020101
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習情報の提供、市民カレッジの開催等の推進により、市民が様々な学習活動に参加できるようにする。 生涯学習活動を行うすべての市民に成果の発表の場を提供するとともに、新たな学びを求める市民が学習機会に出会える場を創出する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進協議会を通じて市民の意見を取り入れる。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

様々な生涯学習についての機会を提供するとともに関連機関との連携を図ることで、施策「学習機会・内容の充実」、「生涯学習体制の強化」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	61	61	33	32	32	24			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	61	61	33	32	32	24			
	人工数	人		0.65		0.4					
	人件費	千円		2,682		3,194					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
「市民カレッジ」を開催することにより、市民に対し生涯学習の機会を提供する。また、広報誌を発行することにより、各種体験活動等について情報提供を行う。	市民カレッジ講座の開催回数	回	7	7	9	9
		実績値	7	7	9	
成果	成果指標	人	140	140	270	270
		実績値	125	108	367	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	1	2	1	生涯学習推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	02	生涯学習推進事業

整理番号
101020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>市民カレッジについては、人権をテーマにしたものを必ず1回盛り込み、市民が興味を持ちそうなテーマを企画し、前年度と比べ2回増となる全9回開催した。周知方法について、広報紙やウェブサイト以外に自治会に対する文書配布や高齢者が集まる会場に行き、直接説明するなど広く募集をした。その結果、参加者数を前年度比3倍に、新規の受講者を全体の3割まで増やすことができた。</p> <p>①7月1日「熱中症予防について」 37人 ②8月1日「ポッチャ体験」 25人 ③9月2日「ひとりひとりの防災対策について」 47人 ④10月3日「テレ朝出前講座～ニュース番組の舞台裏～」 43人 ⑤11月7日「相続登記の義務化と相続土地国庫帰属制度について」 54人 ⑥12月13日「終活支援セミナー」 47人 ⑦1月10日「交通安全と防犯について」 39人 ⑧2月7日「ヤングケアラーについて」 31人 ⑨3月7日「渋沢栄一と茂原市ゆかりの人々～石井菊次郎とのかかわりを中心に～」 44人</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・会場について、当初40名程度の受講を見込んで用意していたが、申し込みが殺到した講座(⑤、⑥)は、受講可能人数を越えた分の申し込みを断ったため、大人数の受講が可能な会場の用意が必要。 ・講義内容について、近年開催した内容と類似しているため、内容が偏らないように講師を探す。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>令和6年度の実績を踏まえて会場を設定する。また、計画的に内容を検討し内容が偏らないようにする。</p>	
企画政策課の評価		評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	市民カレッジの開催により、市民の学習機会の充実に一定の成果があったと認められる。講義内容等について、市民ニーズに沿った講義の開催を継続していただきたい。

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	3	1	生涯学習	生涯学習の担い手の育成・支援
実施計画事業名					
社会教育関係団体助成事業					

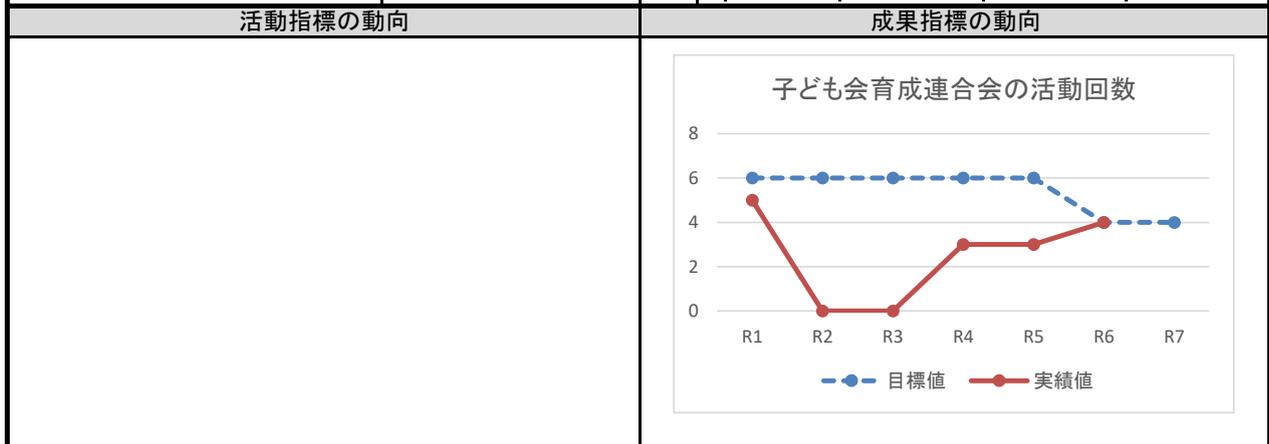
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	01	07	社会教育関係団体助成事業	
担当課・係等					
生涯学習課 社会教育係					

実施計画整理番号	
101030101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要(PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>社会教育団体の育成・支援が図られるとともに、活動が活性化されることを目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各団体(PTA連合会・ボーイスカウト茂原第2団・子ども会育成連合会)の活動を支援する。 子ども会育成連合会については、事務局として運営を支える。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>社会教育関係団体に対して財政面及び運営面の支援を行うことで活性化を図り、地域住民等の力を借りて社会教育の充実を図る。ひいては施策「生涯学習体制の強化」、「生涯学習の担い手の育成・支援」及び「青少年健全育成の充実」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
			事業費	千円	641	641	164	641	641	641	
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	641	641	164	641	641	641			
	人工数	人	0.5			0.5					
	人件費	千円	3,831			3993					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
社会教育関係団体の活性化を図るため、補助金交付により財政面を、生涯学習課が事務局を担うことにより運営面を支援する。	社会教育関係団体の活性化を図るため支援を行う	目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
社会教育関係団体の活性化により、社会教育の推進に努める。	子ども会育成連合会の活動回数	回				
		目標値	6	6	4	4
		実績値	3	3	4	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	1	3	1	社会教育関係団体助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	07	社会教育関係団体助成事業

整理番号
101030101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・関係団体に補助金を交付し、活動を支援した。</p> <p>①PTA連合会 51千円(講演会等)</p> <p>②子ども会育成連合会 580千円(キャンプ事業、ジュニアリーダー育成等)</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・近年、単位子ども会(地区ごとの子ども会)の数が減少傾向にある。また、子ども会加入率も大きく落ち込んでいる。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・青少年育成茂原市民会議や青少年相談員連絡協議会等の青少年育成関係団体との連携をサポートし、一層効果的な活動ができるような体制づくりを推進する。</p> <p>・広報等を通じて、市民や自治会に子ども会活動に対する理解を深めてもらうための啓発を行う。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>社会教育団体への支援により、社会教育の充実に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援に努めるとともに、子ども会活動に関する効果的な周知啓発方法についても検討していただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	5	2	生涯学習	図書館の整備
実施計画事業名					
図書館移転事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	5	3	2	図書館移転事業	
担当課・係等					
生涯学習課生涯学習係					

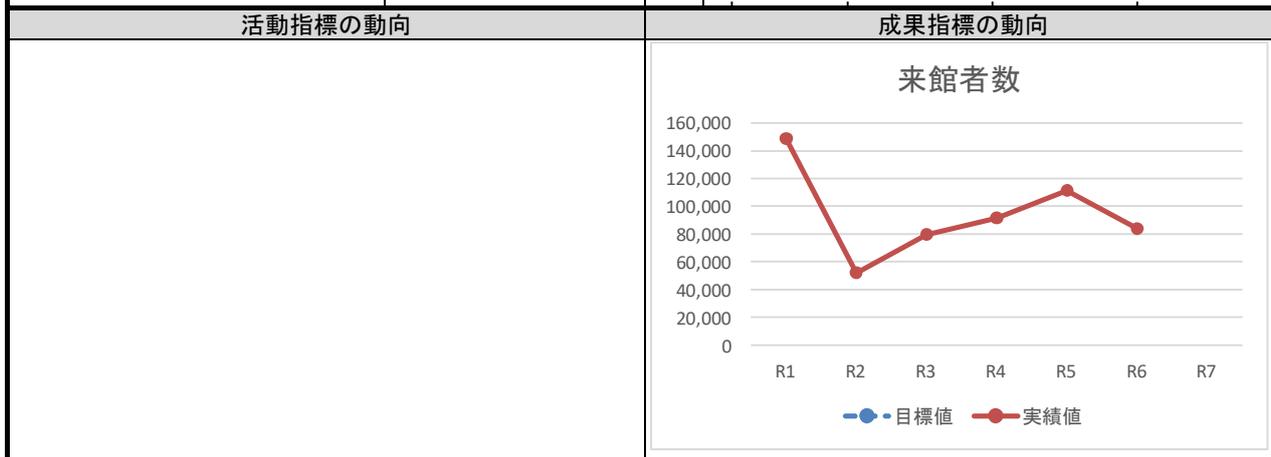
実施計画整理番号	
101050201	
総合戦略整理番号	

事業概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	1 床借上げ料の軽減、現在のサンヴェル床借り上げ料との比較では、年額8,463千円の減。長期継続契約の期間は20年を予定している。現状と比べ、新しい施設に安価で、安定した運営が可能になると考える。 2 利便性の向上、アスモには、無料で利用できる駐車場が650台あり、経路に大きな障壁も無いことから、車での利用がしやすくなる。利便性の向上が見込める。 3 図書館施設の充実、移転検討先であるアスモでは施設がリニューアルされ、また、施設内にある「センターコート」や「アスモ劇場」などを無料で使うことができる。	読書スペースや学習環境の充実を図り、子どもからお年寄りまで多世代の方々にご利用いただける図書館を目指し、基本計画・基本設計を策定し、令和6年度中に工事を完成させてもらうとともに速やかに移転を行い、令和6年度中に開館する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

総合基本計画第1節教育文化テーマ1生涯学習基本方針にある自主的に生涯学習に取り込む環境の整備、推進に寄与すると考える。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円				109,500	99,694	84,657			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円				109,500	99,694	84,657			
人工数	人				2						
人件費	千円				15,970						

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
			目標値	実績値	目標値	実績値
目標・目的を達成するため、基本計画・基本設計を策定し、これに基づく図書館を建築してもらう。			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
子どもからお年寄りまで多世代の方々にご利用いただける図書館	来館者数(人)	万人	目標値		0	0
			実績値		11	8.4



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	1	5	2	図書館移転事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	5	3	2	図書館移転事業

整理番号
101050201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>令和6年4月に茂原市新図書館基本計画を策定し、令和7年3月21日に新図書館を開館させた。また、新図書館は子どもから大人まで快適に利用できるゆったりとした読書スペースや専用の学習スペースを確保した。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>アスモへ移転したことにより、施設がリニューアルされたことや施設内にある「センターコート」や「アスモ劇場」等の利用が可能であるが、どのように図書館の利用者数及び貸出数の増加に繋げていくか。</p>		

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>一時的な利用で無く、継続的に利用してもらえるように利用者のニーズを把握するとともに、利用し易い図書館を目指していく。アスモと連携したイベントの実施を継続的に実施していく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>移転に伴い確保されたゆったりとした読書スペースや専用の学習スペースの活用やアスモと連携したイベントの実施を通して、利用者数および貸出数の増加に努めていただきたい。</p>

今後の方向性 (ACTION)

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	1	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(小)総合学習推進事業					

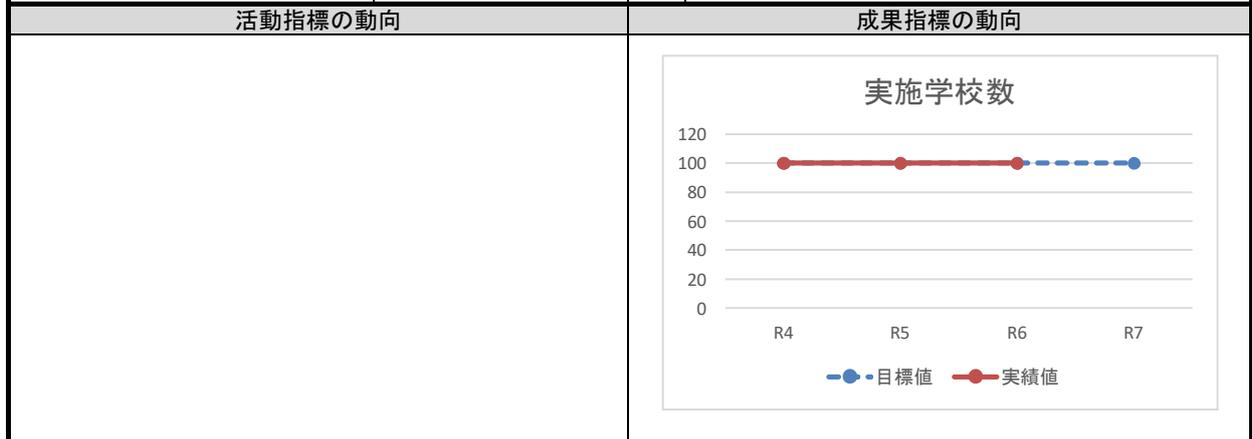
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	2	2	1	総合学習推進事業	
担当課・係等					
学校教育課 学務係					

実施計画整理番号	
102010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	児童個々を生かす教育を推進し、確かな学力を育成する。	体験学習を中心に多様な学習形態の工夫により、興味・関心を生かした教育を推進する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
興味・関心を生かした教育を推進することで、児童の思考力・判断力・表現力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,201	1,201	982	1,265					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,201	1,201	982	1,265					
	人工数	人	—			—					
	人件費	千円	—			—					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
各学校が選んだ特定分野に対し、集中的な学習を行えるよう支援する。	学校への支援	目標値				
		実績値				
	目標値					
	実績値					
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
すべての児童の「社会で生きる力の育成」が図られる。	実施学校数	%	100	100	100	100
		実績値	100	100	100	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	1	1	(小)総合学習推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
				総合学習推進事業

整理番号
102010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・より効率的に学習成果があげられるよう、各学校が選んだ特定分野に対し、集中的な学習を行った。 ・全小学校で実施できた。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>いずれの取り組みも、児童の「社会で生きる力」を育む教育の推進という目的に資するものであり、一定の成果があったものと認められる。引き続き、創育工夫を生かした教育活動を実施する必要がある。</p>		

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	①業務の整理・統合・集約化
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>引き続き、「総合的な学習の時間」がより効果的に運用されるよう取り組んでいく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>総合学習のための支援により、児童の社会で生きる力の育成に一定の成果があったと認められる。適正な支援により、すべての学校で「総合的な学習の時間」がより効果的に運用されるよう努めていただきたい。</p>

今後の方向性 (ACTION)

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	1	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(中)総合学習推進事業					

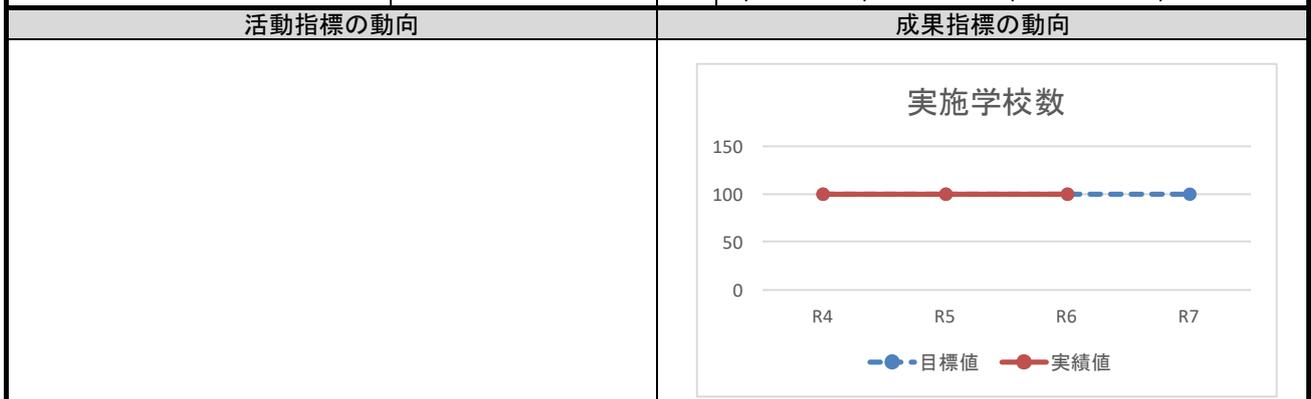
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	3	2	3	総合学習推進事業	
担当課・係等					
学校教育課 学務係					

実施計画整理番号	
102010102	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	生徒個々を生かす教育を推進し、確かな学力を育成する。	体験学習を中心に多様な学習形態の工夫により、興味・関心を生かした教育を推進する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	興味・関心を生かした教育を推進することで、生徒の思考力・判断力・表現力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	602	602	523						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	602	602	523						
	人工数	人	—			—					
	人件費	千円	—			—					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
各学校が選んだ特定分野に対し、集中的な学習を行えるよう支援する。	学校への支援	目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
すべての生徒の「社会で生きる力の育成」が図られる。	実施学校数	%	100	100	100	100
			100	100	100	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	1	1	(中)総合学習推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
				総合学習推進事業

整理番号
102010102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・より効率的に学習成果があげられるよう、各学校が選んだ特定分野に対し、集中的な学習を行った。
- ・全中学校で実施できた。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

いずれの取り組みも、生徒の「社会で生きる力」を育む教育の推進という目的に資するものであり、一定の成果があったものと認められる。引き続き、創育工夫を生かした教育活動を実施する必要がある。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	①業務の整理・統合・集約化

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

引き続き、「総合的な学習の時間」がより効果的に運用されるよう取り組んでいく。

企画政策課の評価	評価理由
B A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	総合学習のための支援により、生徒の社会で生きる力の育成に一定の成果があったと認められる。適正な支援により、すべての学校で「総合的な学習の時間」がより効果的に運用されるよう努めていただきたい。

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	1	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(小)子どもの読書活動推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	02	02	05	子どもの読書活動推進事業	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

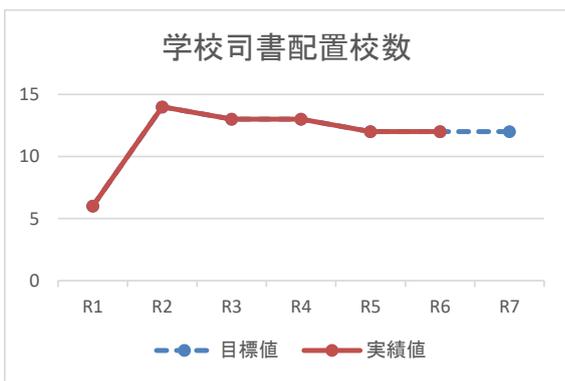
実施計画整理番号	
102010103	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	学校図書館の整備・充実を図り、児童の読書活動や学習活動を充実させる。	・専任の学校司書を配置する。 ・リースにて使用している学校図書館用のパソコンが老朽化しているため、新規に購入し、蔵書データベースへのアクセス環境を維持することで、児童の読書活動や学習活動の支援を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	学校図書館の整備及び読書活動や学習活動の充実を図ることで、本に親しむ意欲と態度の育成につなげ、ひいては、施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

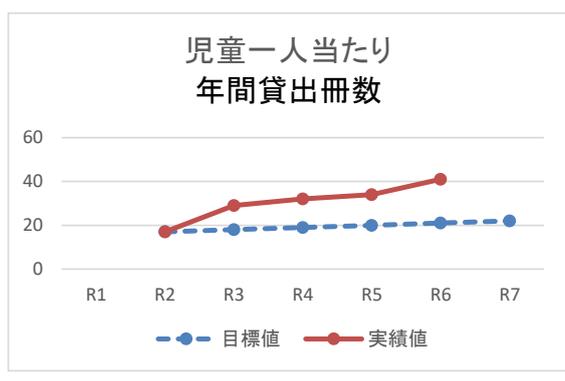
投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	14,681	14,681	14,033	14,412	15,511	15,511		
国補助		千円									
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	14,681	14,681	14,033	14,412	15,511	15,511			
	人工数	人		-			-				
	人件費	千円		-			-				

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
学校図書館の効果的な活用のため、学校図書館用パソコンを購入し、学校司書を配置する。	学校図書館用パソコン 購入台数	台	4	4		
		実績値	4	4		
	学校司書配置校数	校	13	12	12	12
		実績値	13	12	12	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
学校図書館の活用による読書活動や学習活動の推進により、本に親しむ意欲と態度の育成ひいては社会で生きる力の育成につなげる。	児童一人当たり年間貸出冊数	冊	19	20	21	22
		実績値	32	34	41	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	1	1	(小)子どもの読書活動推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	05	子どもの読書活動推進事業

整理番号
102010103

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・小学校全校で蔵書データベースを活用し、読書活動や学習活動の活性化を図った。
- ・蔵書の貸出業務の迅速化や蔵書管理業務が効率よく実施できたことや、選書にあたり児童の読書傾向を反映できたことで、より児童の読書活動の推進が図られた。

課題抽出(CHECK)

	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・蔵書データベース化により蔵書の偏りや複本等が判明したことで、今後、より効果的な選書を行う必要がある。
- ・蔵書の除籍についても、計画的に進める必要がある。

今後の方向性(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・整備された蔵書データベースの管理を継続し、学習や教科等で学校図書館を効果的に活用していく。

企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当

学校図書館の整備・充実のための施策により、児童の読書活動及び学習活動の充実に一定の成果があったと認められる。蔵書データベース化により得られた蔵書の偏りや複本等の内容を今後、より効果的な選書につなげていくとともに、蔵書の除籍についても、計画的に進めることで、学習や教科等で学校図書館を効果的に活用していただいた。

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	1	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(中)子どもの読書活動推進事業					

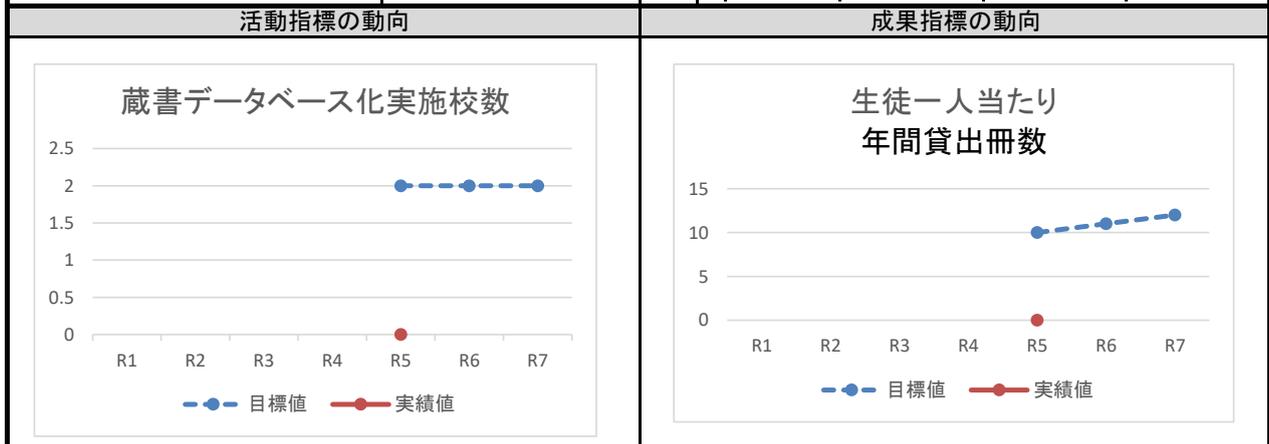
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	03	02	05	子どもの読書活動推進事業	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

実施計画整理番号	
102010104	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	学校図書館の整備・充実を図り、生徒の読書活動や学習活動を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> 専任の学校司書を配置する。 学校図書館の蔵書のデータベース化を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	学校図書館の整備及び読書活動や学習活動の充実を図ることで、本に親しむ意欲と態度の育成につなげ、ひいては、施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	1,995	1,995	1,975	1,397	1,456	1,456		
国補助		千円									
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	1,995	1,995	1,975	1,397	1,456	1,456			
	人工数	人		-			-				
	人件費	千円		-			-				

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
学校図書館整備の中心となる蔵書データベース化実施校の拡充に努める。	蔵書データベース化実施校数	校	目標値	2	2	2
		実績値	-	-		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
学校図書館の整備及び読書活動や学習活動の推進により本に親しむ意欲と態度の育成ひいては社会で生きる力の育成につなげる。	生徒一人当たり年間貸出冊数	冊	目標値	10	11	12
		実績値	-	-		



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	1	1	(中)子どもの読書活動推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	05	子どもの読書活動推進事業

整理番号
102010104

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校1校に対して蔵書データベース化と図書館司書の配置を検討したが、達成できなかった。 ・小学校配置の図書館司書が、中学校の授業運営に協力することで、読書活動の推進につながった。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
D: 実施していない・実施できなかった			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・データベース化されている小学校と比べると、学校図書館環境の整備が進んでいない状況である。蔵書データベース化と図書館司書の配置の必要性を感じる。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書データベース化について、継続して計画していく。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>学校図書館の整備・充実、児童の読書活動及び学習活動の充実とするものであると考えるが、限られた予算の中での読書活動推進の実施方法等検討していただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	2	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(小)国際教育推進事業					

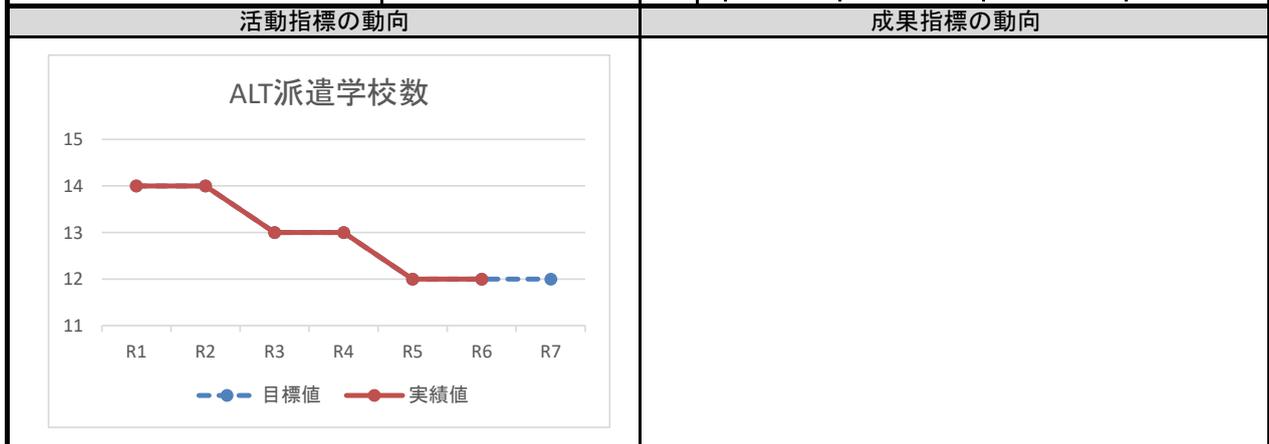
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	02	02	04	国際教育推進事業	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

実施計画整理番号	
102010201	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>児童が外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る素地、基礎となる資質・能力を身に付けられるようにする。</p>	<p>ALTを全小学校へ派遣し、ALTと触れ合う機会を多く提供する。</p> <p>※ALT・・・Assistant Language Teacherの略、外国語を母国語とする外国語指導助手のこと</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	児童がALTと触れ合うことにより、異なる文化を学び、理解することで、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	19,272	19,272	19,272	19,272	19,272	19,272			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	19,272	19,272	19,272	19,272	19,272	19,272			
	人工数	人		-			-				
	人件費	千円		-			-				

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
ALTを全小学校へ派遣し、ALTと触れ合う機会を多く提供する。	ALT派遣学校数	校	13	12	12	12	
		校	13	12	12	12	
			目標値				
			実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
児童が外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る素地、基礎となる資質・能力を身に付けられるようにする。							
			目標値				
			実績値				



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	1	2	(小)国際教育推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	04	国際教育推進事業

整理番号
102010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・小学校3,4年生の外国語活動の授業に週1回、小学校5,6年生の外国語科の授業に週2回、ALTを配置した。</p> <p>・すべての小学校(12校)に派遣できた。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>すべての小学校にALTを派遣したことにより、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地・基礎となる資質・能力を養うことができた。また、言語・文化等の違いを超えて関係を構築する能力を養うことができた。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・引き続き、ALTを全小学校に派遣することで、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けることができると考える。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>すべての小学校へALTを派遣したことにより、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成に一定の成果があったと認められる。引き続き、児童が外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る素地、基礎となる資質・能力を身に付けられるようにしていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	2	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(中)国際教育推進事業					

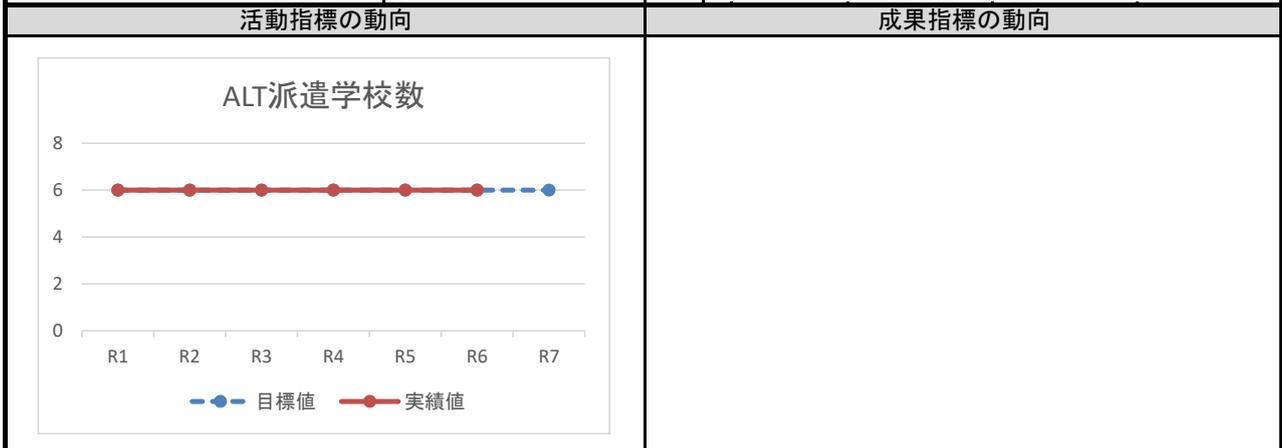
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	03	02	04	国際教育推進事業	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

実施計画整理番号	
102010202	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
		生徒が情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けられるようにする。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	生徒がALTと触れ合うことにより、異なる文化を学び、理解を深めることで、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	34,908	34,908	31,772	33,969	33,975	31,026			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	3,600	3,600	1,014	2,700	2,700	792			
	一般財源	千円	31,308	31,308	30,758	31,269	31,275	30,234			
	人工数	人	-			-					
	人件費	千円	-			-					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
・ALTを全中学校へ派遣し、ALTと触れ合う機会を多く提供する。 ・中学生の海外派遣	ALT派遣学校数	校	目標値	6	6	6
			実績値	6	6	6
	海外派遣人数	人	目標値	31	31	30
			実績値		26 (国内研修)	17 (国内研修)
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
生徒が情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けられるようにする。			目標値			
			実績値			



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	1	2	(中)国際教育推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	04	国際教育推進事業

整理番号
102010202

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

・すべての中学校にALTを派遣した。
 ・中学生の海外派遣事業については、社会情勢等の影響により国内研修を実施した。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

・すべての中学校にALTを派遣したことにより、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を養うことができた。また、広い視野に立ち、言語・文化等の違いを超えて関係を構築する能力を養うことができた。
 ・中学生の海外派遣事業については、社会情勢等の影響を踏まえ国内での研修としたが、異文化に触れることで、異文化を理解する感性が育まれるなど十分な効果を上げることが出来た。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>・すべての中学校にALTを派遣したことにより、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を養うことができた。また、広い視野に立ち、言語・文化等の違いを超えて関係を構築する能力を養うことができた。 ・中学生の海外派遣事業については、社会情勢等の影響を踏まえ、今後も海外だけでなく、国内研修も視野に実施していく必要がある。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>すべての中学校へALTを派遣したことにより、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成に一定の成果があったと認められる。引き続き外国語による言語活動を通して、広い視野に立ち、言語・文化等の違いを超えて関係を構築する能力を養うとともに、時代に即した研修の形を検討していただきたい。</p>

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	1	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(小)学校教育支援事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	03	学校教育支援事業
担当課・係等				
学校教育課 指導係				

実施計画整理番号
102020101
総合戦略整理番号

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	学校の教育環境について、ソフト面において支援を行い、児童の豊かな人間関係作りに必要な基本的な力を育むとともに、円滑な学校教育を推進する。	学校支援ボランティアや心の教室相談員等を配置、斡旋する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
学校支援ボランティアや心の教室相談員が、学校における教育活動の中で必要な活動や支援を行い、ソフト面からの支援を行うことで、豊かな人間関係づくりに必要な基本的な力を育み、ひいては施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	106	106	81	97	97	66			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	106	106	81	97	97	66			
	人工数	人		-			-				
	人件費	千円		-			-				

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
学校支援ボランティアの登録や心の教室相談員を配置する。	学校支援ボランティアの登録者数	人	330	330	330	330
		実績値	275	275	255	
	心の教室相談員配置校数	校	4	4	-	
		実績値	4	-	-	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
児童が豊かな人間関係づくりに必要な基本的な力を身に付ける。		目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	2	1	(小)学校教育支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	03	学校教育支援事業

整理番号
102020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・各小学校に登録した学校支援ボランティアが、学校の環境整備、教育活動、安全対策等を支援した。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・学校支援ボランティアの活動は、徐々に再開している。中でも、安全対策支援としての交通安全の見守りボランティアについては、全小学校で十分に活動しており、昨年に引き続き支援を果たしている。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・引き続き、学校の教育環境の整備や、教育活動等の支援をしていくことで、円滑な学校教育を支援していく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>教育環境のソフト面における支援施策により、円滑な学校教育の推進に一定の成果があったと認められる。引き続き、学校の教育環境の整備や、教育活動等の支援に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	1	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(中)学校教育支援事業					

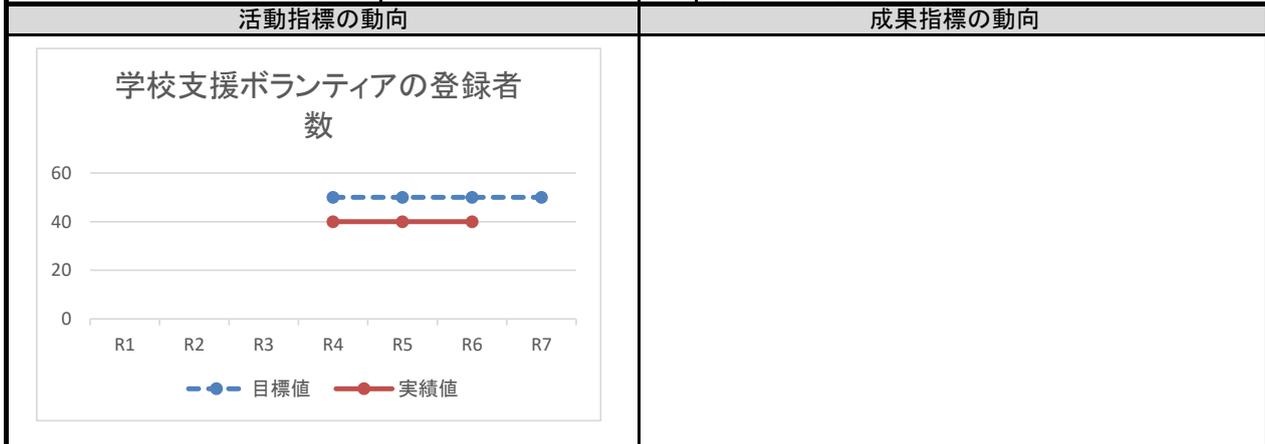
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	03	02	03	学校教育支援事業	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

実施計画整理番号	
102020102	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	学校の教育環境について、ソフト面において支援を行い、生徒の豊かな人間関係づくりに必要な基本的な力を育むとともに、円滑な学校教育を推進する。	学校支援ボランティアや心の教室相談員等を配置、斡旋する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	学校支援ボランティアが、学校における教育活動の中で必要な活動や支援を行い、ソフト面からの支援を行うことで、豊かな人間関係づくりや社会性を育成し、ひいては施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	2,360	2,360	2,117	2,601	2,766	2,741		
国補助		千円									
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円				132	132	792			
一般財源		千円	2,360	2,360	2,117	2,469	2,634	1,949			
	人工数	人		-			-				
	人件費	千円		-			-				

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
学校支援ボランティアの登録や適応指導教室の設置	学校支援ボランティアの登録者数	人	50	50	50	50
		実績値	40	40	40	
	適応指導教室の設置箇所	箇所	2	2	2	2
		実績値	2	2	2	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
生徒が豊かな人間関係づくりに必要な基本的な力を身に付ける。		実績値				
		目標値				



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	2	1	(中)学校教育支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	03	学校教育支援事業

整理番号
102020102

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・各中学校に登録した学校支援ボランティアが、学校の環境整備、教育活動等を支援した。
- ・適応指導教室を2箇所設置し、不登校児童・生徒を対象に、自立心や社会性の育成、社会的自立を目指しての支援を行った。

課題抽出(CHECK)

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・学校支援ボランティアの活動は、徐々に再開している。
- ・全中学校に配置されたスクールカウンセラー(県費)により、学校の教育相談体制の強化につながった。
- ・適応指導教室の設置により、不登校児童・生徒に対する社会的自立を目指しての支援を行った。

今後の方向性(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・引き続き、学校の教育環境の整備や教育活動等の支援をしていくことで、円滑な学校教育を推進していく。
- ・引き続き、不登校児童生徒の対応を、学校と連携を密にしながらか対応していく。

企画政策課の評価	評価理由
<p>A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>教育環境のソフト面における支援施策により、円滑な学校教育の推進に一定の成果があったと認められる。引き続き学校と連携を密にし、必要な支援に努めていただきたい。</p>

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	2	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
学校給食物価高騰等対策事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	06	03	03	学校給食管理運営費	
担当課・係等					
学校教育課 学校給食センター					

実施計画整理番号	
102020201	
総合戦略整理番号	

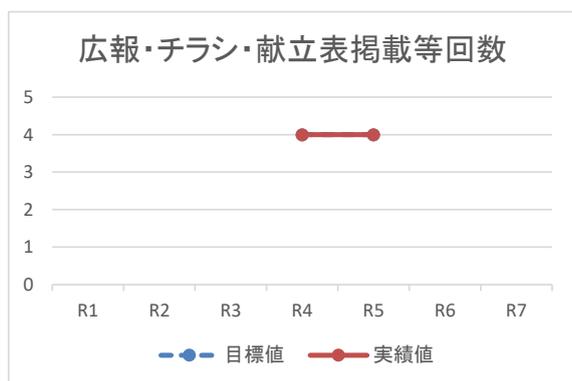
事務事業の概要(PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	多子世帯の第3子以降の給食費を無償化するとともに、学校給食食材費の高騰分を市で負担することで、長引くコロナ禍の不景気と、ウクライナ情勢の影響による物価高騰で打撃を受けている子育て世代の保護者の経済的負担を軽減する。	県費補助、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、 ①多子世帯のうち、扶養となっている第3子以降の小中学校在籍児童生徒の給食費を無償化する。 ②食材費の高騰分について市で負担する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

急激な物価高騰により、従前の給食費負担額でこれまでどおりの給食を提供することはできなくなっているが、すでに経済的打撃を受けている保護者に給食費の値上げを求めるのは難しい。食材費の高騰分を市で負担することで、安全・安心で豊かな学校給食を供給し、施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。

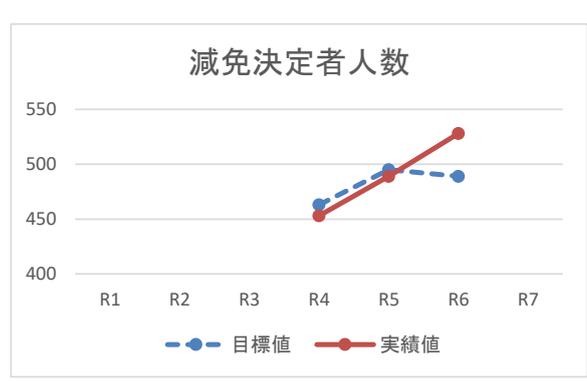
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	50,519	53,649	53,649	50,829	80,616	80,616			
財源内訳	国補助	千円		40,536	40,657		40,242	40,242			
	県補助	千円	13,113	13,113	12,992	13,711	13,711	15,116			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	37,406			37,118	26,663	25,258			
人工数	人		0.3			0.3					
人件費	千円		2,299			2,299					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
制度の周知・広報	広報、チラシ、献立表掲載等回数	回	目標値	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	
			目標値				
			実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
第3子以降の学校給食費無償化及び食材費の高騰分を市で負担することで、安全・安心で豊かな学校給食を供給するとともに、保護者への経済的な負担の軽減を図る。	減免決定者人数	人	目標値	463	495	489	522
			実績値	453	489	528	

活動指標の動向



成果指標の動向



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	2	2	学校給食物価高騰等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	06	03	03	学校給食管理運営費

整理番号
102020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・食材料費の物価高騰分を公費で負担することにより、保護者負担の抑制が図られた。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者負担の抑制を図りながら、安心安全で栄養量を確保したバランスの良い給食を提供することができた。 ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が廃止された場合、公費で負担するか、保護者負担として給食費を値上げするのか、(小学校1食270円→320円、中学校1食315円→380円)市の方針を決定する必要がある。 ・公費で負担する場合は年間約6,500万円の財源が必要となる。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	①業務の整理・統合・集約化
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の廃止を踏まえた、市の公費負担に対する方針の決定。	
	企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	
学校給食に係る物価対応策の施策により、子育て世代の保護者の経済的負担軽減に一定の成果があったと認められる。交付金廃止後の対応については、検討していただきたい。		

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	4	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(小)特別支援教育支援員活用事業					

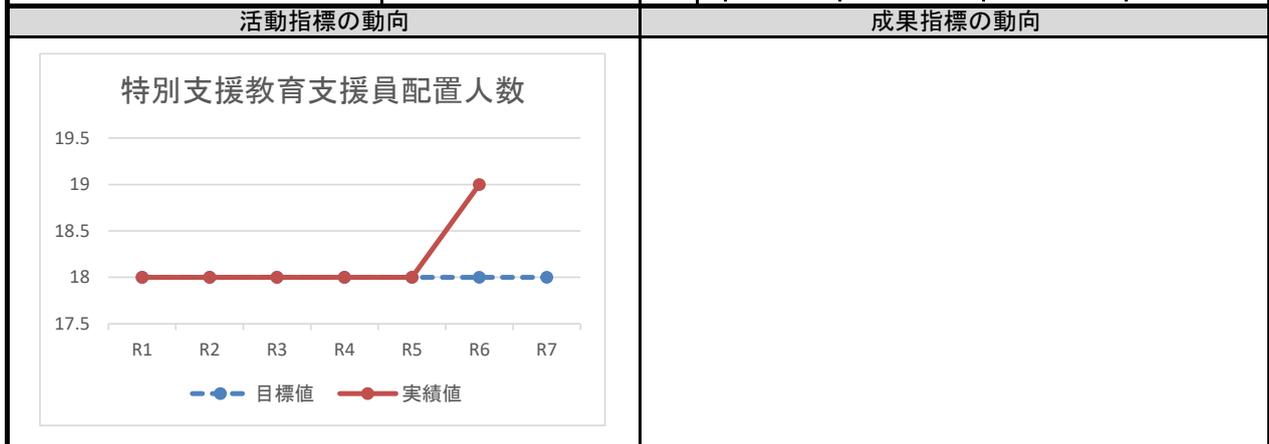
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	02	01	01	一般職人件費	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

実施計画整理番号	
102020401	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。	特別支援教育支援員を配置する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	障害があり、集団の中で学習やソーシャルスキルに課題がある児童に対し、安心して学校生活を過ごすことができ、自尊心低下が抑えられることを目的として、個別で丁寧に支援するために特別教育支援員を配置することは、施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	35,160	35,159	33,612	39,893	42,259	42,259		
国補助		千円									
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	35,160	35,159	33,612	39,893	42,259	42,259			
	人工数	人		-			-				
	人件費	千円		-			-				

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
特別支援教育支援員を配置する。	特別支援教育支援員配置人数	人	目標値	18	18	18	18
			実績値	18	18	19	
	特別支援教育支援員配置校数	校	目標値	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。			目標値				
			実績値				



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	2	4	(小)特別支援教育支援員活用事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	01	01	一般職人件費

整理番号
102020401

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・特別に支援を要する児童に対し、学校生活上の介助や学習指導上の支援等、個に応じた教育や支援を行った。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・近年、支援を要する児童が増加傾向にあり、一人ひとりの障害に応じたきめ細かな支援が求められている。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・引き続き、学校全体で組織的な支援を行い、一人ひとりの教育的ニーズに対応した、適切な教育や必要な支援を推進するため、継続して支援員を配置していく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>特別支援教育支援員の配置により、適正な教育や支援に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援員の配置に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	4	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(中)特別支援教育支援員活用事業					

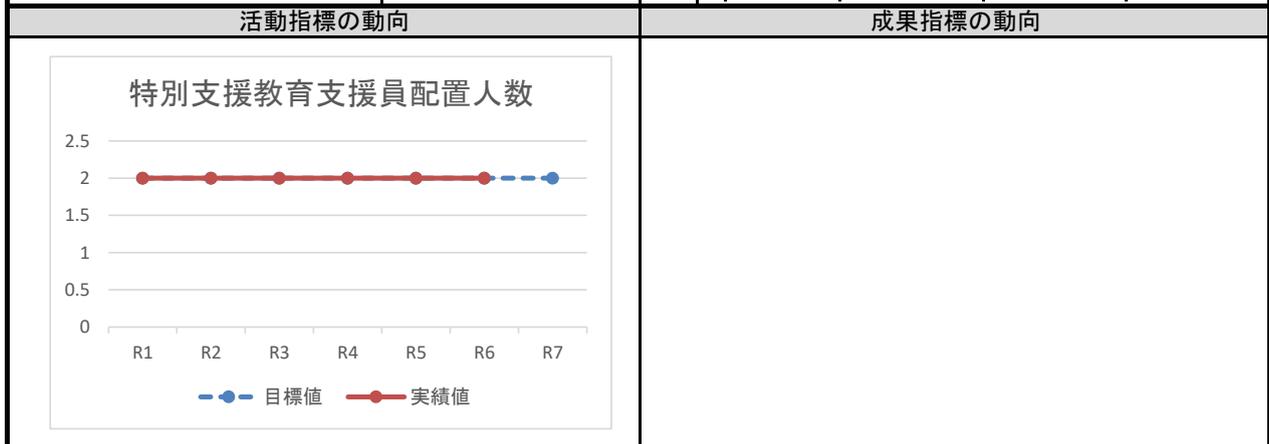
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	03	01	01	一般職人件費	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

実施計画整理番号	
102020402	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか) 特別支援教育支援員を配置する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	障害があり、身辺自立や学習に課題がある生徒に対し、安心して学校生活を過ごすことができ、自尊心低下が抑えられることを目的として、個別で丁寧に支援するために特別教育支援員を配置することは、施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	4,523	4,686	4,627	5,320	5,792	5,792		
国補助		千円									
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	4,523	4,686	4,627	5,320	5,792	5,792			
	人工数	人		-			-				
	人件費	千円		-			-				

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
特別支援教育支援員の配置	特別支援教育支援員配置人数	人	目標値 2	2	2	2
		実績値 2	2	2	2	
	特別支援教育支援員配置校数	校	目標値 2	2	2	2
		実績値 2	2	2	2	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。			目標値			
			実績値			



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	2	4	(中)特別支援教育支援員活用事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	01	01	一般職人件費

整理番号
102020402

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・特別に支援を要する生徒に対し、学校生活上の介助や学習指導上の支援等、個に応じた教育や支援を行った。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・近年、支援を要する生徒が増加傾向にあり、一人ひとりの障害に応じたきめ細かな支援が求められている。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・引き続き、学校全体で組織的な支援を行い、一人ひとりの教育的ニーズに対応した、適切な教育や必要な支援を推進するため、継続して支援員を配置していく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>特別支援教育支援員の配置により、適正な教育や支援に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援員の配置に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	4	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(幼)特別支援教育支援員活用事業					

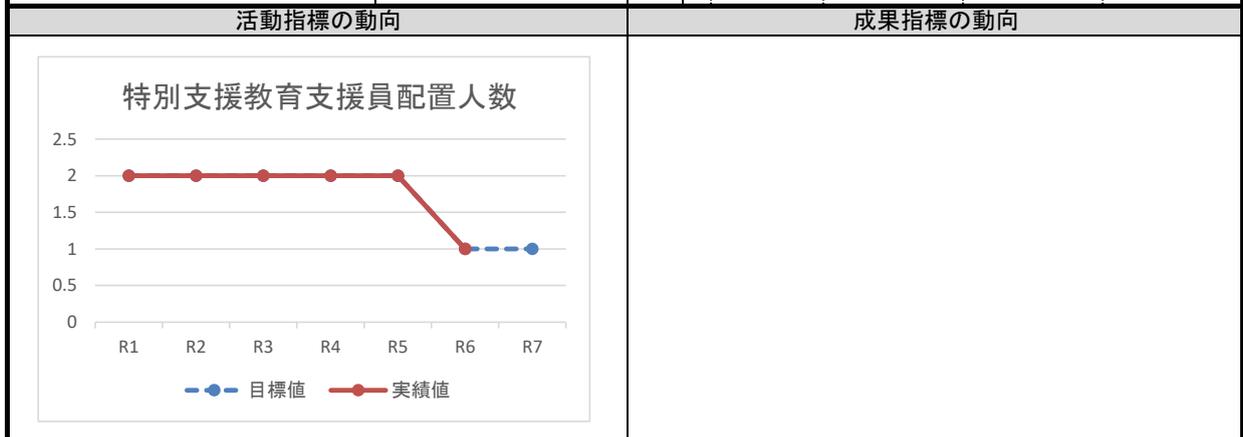
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	04	01	01	一般職人件費	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

実施計画整理番号	102020403
総合戦略整理番号	

事務事業の概要(PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	障害がある子どもが、安心して園生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。	特別支援教育支援員を配置する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
障害があり、集団の中で学習やソーシャルスキルに課題がある児童に対し、安心して園生活を過ごすことができ、自尊心低下が抑えられることを目的として、個別で丁寧に支援するために特別教育支援員を配置することは、施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,789	3,845	3,845	4,312	2,424	2,424			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,789	3,845	3,845	4,312	2,424	2,424			
	人工数	人		-			-				
	人件費	千円		-			-				

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
特別支援教育支援員の配置	特別支援教育支援員配置人数	人	2	2	1	1
		実績値	2	2	1	
	特別支援教育支援員配置園数	園	1	1	1	1
		実績値	1	1	1	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
障害がある子どもが、安心して園生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。		目標値				
		実績値				



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	2	4	(幼)特別支援教育支援員活用事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	04	01	01	一般職人件費

整理番号
102020403

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・特別に支援を要する幼児に対し、学校生活上の介助や学習指導上の支援等、個に応じた教育や支援を行った。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・近年、支援を要する幼児が増加傾向にあり、一人ひとりの障害に応じたきめ細かな支援が求められている。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・引き続き、学校全体で組織的な支援を行い、一人ひとりの教育的ニーズに対応した適切な教育や必要な支援を推進するため、必要に応じて支援員を配置していく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>特別支援教育支援員の配置により、適正な教育や支援に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援員の配置に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	3	1	学校教育	教育環境の整備
実施計画事業名					
中学校施設整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	03	01	02	中学校管理補修費	
担当課・係等					
教育総務課 総務係					

実施計画整理番号	
102030101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>老朽化した学校施設について、計画的に改修を行い教育環境の整備を図る。 また、グラウンド整備を行い屋外教育環境の充実を図る。</p>	<p>施設の改修やグラウンドの整備に伴う設計業務を行い、大規模改修、長寿命化改修、改築などの工事やグラウンド等の整備を実施する。また、工事に伴う監理業務を行う。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
<p>老朽化した学校施設について、計画的に改修やグラウンド整備などに努めることで、生徒の安全性の確保や快適な学習環境の確保に繋がり、ひいては施策「教育環境の整備」に寄与する。</p>		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	17,257	17,257	13,634	13,521	13,521	12,716			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円	12,100	12,100	9,400	8,600	8,600	8,200			
	その他	千円									
	一般財源	千円	5,157	5,157	4,234	4,921	4,921	4,516			
	人工数	人	0.65			0.60					
	人件費	千円	4,583			4,507					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
改修事業等を実施することで、生徒の安全性を確保し、教育環境の改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 施設等の状況把握 長寿命化計画や学校再編実施計画との整合性を考慮した整備 	目標値				
		実績値				
成果	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の安全性の確保 教育環境の改善 	目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	3	1	中学校施設整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	01	02	中学校管理補修費

整理番号
102030101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・南中学校南側のがけ対策に伴う事前工事として、リース方式による部室棟の移転・新設を適切に行うことができた。
- ・南中学校と早野中学校の統合に合わせたトイレ大規模改修工事について、設計業務委託により適切に設計を行うことができた。
- ・南中学校と早野中学校の統合に伴う空調機設置工事について、設計業務委託により適切に設計を行うことができた。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

- ・学校統合における必要な改修や施設・設備の老朽化による改修など、環境整備には多額の費用や期間を要することが見込まれる。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

- ・3か年実施計画との整合を図りながら、必要な整備を実施していく。

企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>学校施設の整備に係る事業実施により、教育環境の整備に一定の成果があったと認められる。引き続き計画的な事業実施に努めるとともに、限られた予算の中での効率的な事業実施方法を検討していただきたい。</p>

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	3	1	学校教育	教育環境の整備
実施計画事業名					
小学校施設整備事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	02	01	02	小学校管理補修費 小学校施設整備事業	
担当課・係等					
教育総務課 総務係					

実施計画整理番号	
102030103	
総合戦略 整理番号	

事業 事業 の 概 要 (P L A N)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>老朽化した学校施設について、計画的に改修を行い、安全性の確保及び教育環境の充実を図る。 また、グラウンド整備等を行い屋外教育環境の充実を図る。</p>	<p>施設の改修やグラウンドの整備に伴う設計業務を行い、大規模改修、長寿命化改修、改築などの工事やグラウンド等の整備を実施する。また、工事に伴う監理業務を行う。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>老朽化した学校施設について、計画的に改修やグラウンド整備などに努めることで、児童生徒の安全性の確保や快適な学習環境の確保に繋がり、ひいては施策「教育環境の整備」に寄与する。</p>	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	13,442	13,442	8,690	44,297	44,297	39,908			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円	9,900	9,900	6,350	33,100	33,100	29,900			
	その他	千円									
	一般財源	千円	3,542	3,542	2,340	11,197	11,197	10,008			
	人工数	人	0.15			0.15					
	人件費	千円	1,149			1,200					

手 段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
改修事業等を実施することで、児童生徒の安全性を確保し、教育環境の改善に努める。	・施設等の状況把握 ・長寿命化計画や学校再編実施計画との整合性を考慮した整備	目標値				
		実績値				
	目標値					
	実績値					
成 果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
改修事業等の推進により児童生徒の安全性の確保ひいては教育環境の充実につなげる。	・児童生徒の安全性の確保 ・教育環境の改善	目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	3	1	小学校施設整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	01	02	小学校管理補修費 小学校施設整備事業

整理番号
102030103

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・老朽化に伴うトイレの改修、洋式化工事のため、市債(義務教育施設債)を活用し、東郷小学校第2教室棟トイレ改修工事及び東部小学校教室棟トイレ改修工事を実施した。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・東郷小学校及び東部小学校のトイレ改修工事の実施により、小学校校舎のトイレ洋式化率は81.5%となり、快適な教育環境の整備が図られた。しかしながら、全ての小中学校のトイレ改修、洋式化には、多額の費用や、期間を要するため、計画的・効率的に施設整備を実施する必要がある。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・引き続き、学校施設の整備方針に基づき、計画的・効率的な整備に図るとともに、事業実施に当たっては、国・県の交付金や市債等を活用し一般財源の抑制に努めていく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>学校施設の整備に係る事業実施により、教育環境の整備に一定の成果があったと認められる。引き続き計画的な事業実施に努めるとともに、限られた予算の中での効率的な事業実施方法を検討していただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	4	1	学校教育	教職員の資質の向上
実施計画事業名					
(小)職員研修支援事業					

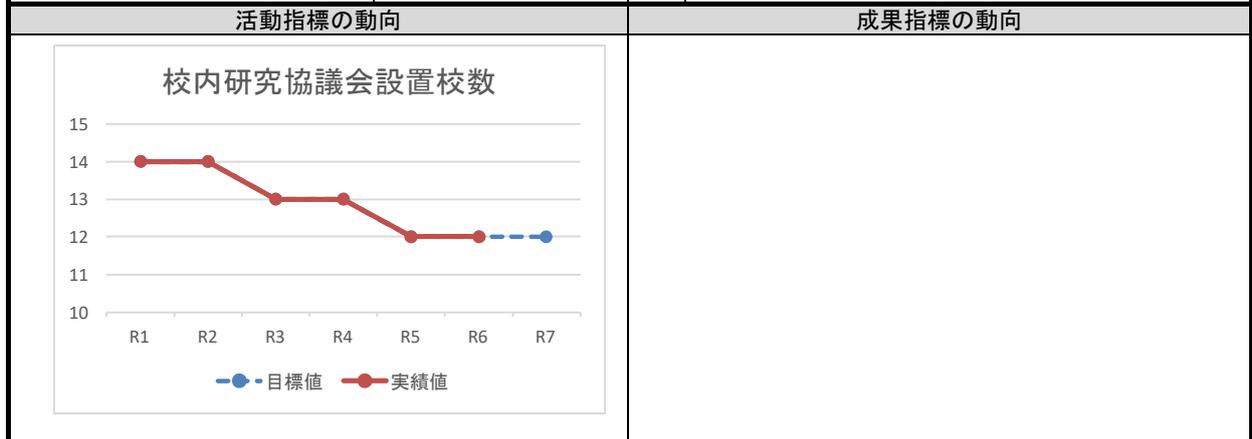
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	2	2	6	職員研修支援事業	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

実施計画整理番号	
102040101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要(PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。	・各学校での校内研修会及び茂原市教育研究協議会の実施支援。 ・自主グループの育成及び県教委主催研修への参加の促進。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
校内研修や茂原市教育研究協議会において、教育課題に沿った研修の充実を図ることで、幅広い視野をもち児童の実態に対応できるような教職員を育成し、ひいては施策「教職員の資質の向上」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	456	456	451		0	0			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	456	456	451						
	人工数	人		-			-				
	人件費	千円		-			-				

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
各研修会で、教職員一人ひとりが自ら進んで研修する。	校内研究協議会設置校数	校	目標値 13	12	12	12
		実績値 13	12	12		
	茂原市教育研究協議会部会数	部会	目標値 16	16	16	16
		実績値 16	16	16		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。		校	目標値			
		実績値				



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	4	1	(小)教職員研修支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
				職員研修支援事業

整理番号
102040101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育課題に沿った研修会への参加を促進できた。 ・校内研修や小中学校の相互参観等を通して、教職員の資質・能力の向上を図れた。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・各研修会に参加することで、教職員として必要な資質・能力が保持されるとともに、定期的に最新の知識・技能を身に付けることができた。引き続き、教職員としての資質・能力向上が図れる体制を整える必要がある。 		

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、指定校等の授業公開の実施、参観を通して取組の成果を共有するとともに、児童の学力向上や授業改善に向けた取り組みの充実を図っていく。 	
企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 研修会参加のための施策により、教職員の資質の向上に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援に努めていただきたい。

今後の方向性 (ACTION)

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	4	1	学校教育	教職員の資質の向上
実施計画事業名					
(中)職員研修支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	3	2	6	職員研修支援事業	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

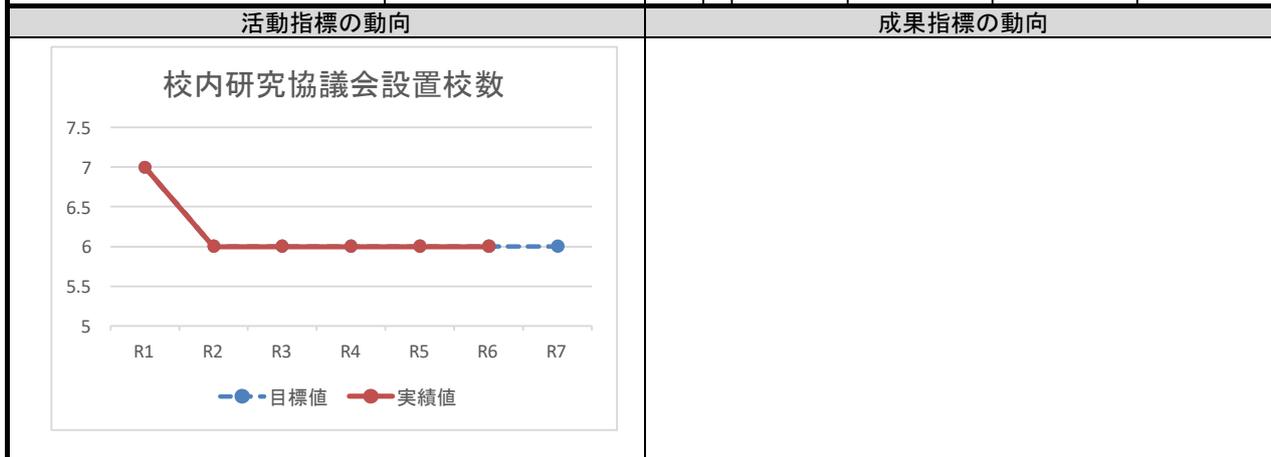
実施計画整理番号	
102040102	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。	・各学校での校内研修会及び茂原市教育研究協議会の実施支援。 ・自主グループの育成及び県教委主催研修への参加の促進。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

校内研修や茂原市教育研究協議会において、教育課題に沿った研修の充実を図ることで、幅広い視野をもち生徒の実態に対応できるような教職員を育成し、ひいては施策「教職員の資質の向上」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	344	344	344		0	0		
国補助		千円									
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	344	344	344						
人工数	人		-			-					
人件費	千円		-			-					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
各研修会で、教職員一人ひとりが自ら進んで研修する。	校内研究協議会設置校数	校	目標値	6	6	6	6
			実績値	6	6	6	
	茂原市教育研究協議会部会数	部会	目標値	14	14	14	14
			実績値	14	14	15	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。			目標値				
			実績値				



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	2	4	1	(中)教職員研修支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
				職員研修支援事業

整理番号
102040102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育課題に沿った研修会への参加を促進できた。 ・校内研修や小中学校の相互参観等を通して、教職員の資質・能力の向上を図れた。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・各研修会に参加することで、教職員として必要な資質・能力が保持されるとともに、定期的に最新の知識・技能を身に付けることができた。引き続き、教職員としての資質・能力向上が図れる体制を整える必要がある。 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、指定校等の授業公開の実施、参観を通して取組の成果を共有するとともに、生徒の学力向上や授業改善に向けた取り組みの充実を図っていく。 	
企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 研修会参加のための施策により、教職員の資質の向上に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援に努めていただきたい。

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	3	2	1	スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーションの推進
実施計画事業名					
スポーツ振興事業					

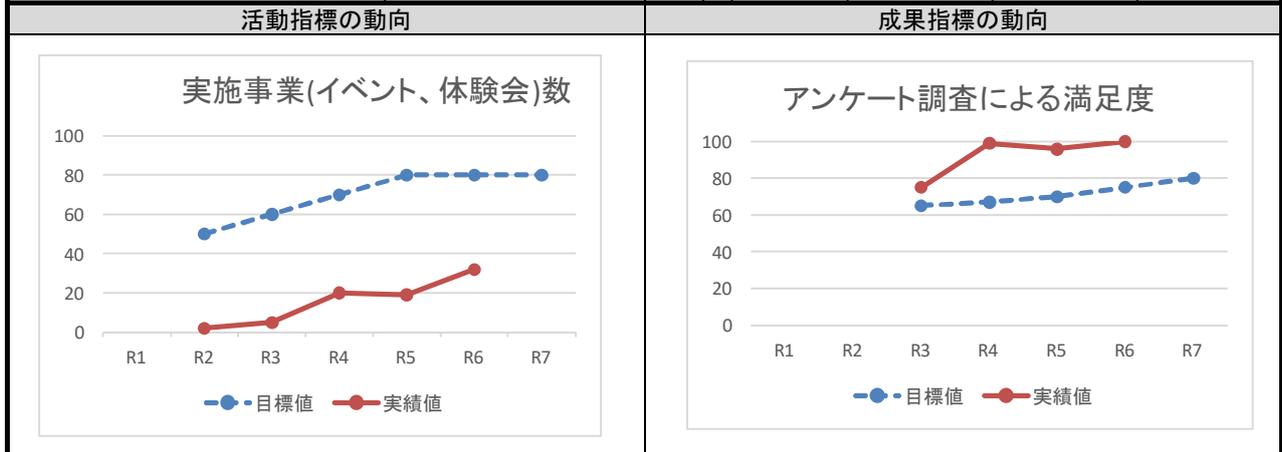
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	6	1	2	スポーツ振興事業	
担当課・係等					
スポーツ振興課 スポーツ振興係					

実施計画整理番号	
103020102	
総合戦略整理番号	32202

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民が、スポーツに取り組む機会の充実や環境整備を図り、スポーツを行う習慣づくりの意識啓発に努め、スポーツへの関心や意欲の向上を図られることを目指す。また、茂原市スポーツ協会と茂原市スポーツ少年団の組織強化を図り、競技スポーツと青少年の健全育成を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 従来の市民体育館での事業に加え、小学校体育館を拠点とした事業も実施し、身近な場所で気軽にスポーツに取り組む環境を整備する。 もばらタッチバレーボール千葉県大会、ファミリースポーツまつり、スポレク祭、大相撲鎌山部屋ふれあい相撲等を開催する。 スポーツ協会とスポーツ少年団に補助金を交付して支援し、競技力向上のために、スポーツ協会と共催で市民体育祭を開催する。 事業実行を行うため定期的にスポーツ推進委員会会議を開催する。 スポーツの推進に関する事項を審議するため、スポーツ推進審議会を設置する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市民スポーツの充実や、スポーツによる健康・体力づくり事業の活性化を図ることで、施策「スポーツ・レクリエーションの推進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	6,770	6,880	6,309	6,614	6,614	5,807			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	120	120	120						
	一般財源	千円	6,650	6,760	6,189	6,614	6,614	5,807			
	人工数	人	1.7			1.3					
	人件費	千円	12,232			9811					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
スポーツへの関心や意欲の向上を目的としたスポーツ・レクリエーション事業の実施	実施事業(イベント、体験会)数	回	70	80	維持します	維持します
		実績値	20	19	31	
	回	目標値				
		実績値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市民が習慣的にスポーツに取り組める機会の充実を図り、楽しみながら心身ともに健康でいられる環境をつくる。	事業(イベント)参加者へのアンケート調査による満足度(満足、概ね満足の人割合)	%	増加を目指します	増加を目指します	維持します	維持します
		実績値	99	96	100	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	3	2	1	スポーツ振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
0	60	10	3	スポーツ振興事業

整理番号
103020102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・もばらタッチバレーボール千葉県大会を開催し、379人の参加があった。 ・茂原市スポレク祭を開催し、119人の参加があった。 ・レッツエンジョイスポーツ(計9回)、レッツエンジョイウォーキング(計3回)を実施し、588人の参加があった。 ・パラスポーツ教室(10教室)を開催し、400名の参加があった。 ・キッズ運動能力向上教室(計6回)を実施し、120名の参加があった。 ・大相撲綴山部屋ふれあい相撲を開催し、470人の参加があった。 ・スポーツ協会及びスポーツ少年団への補助金を交付し活動の支援を行った。 ・スポーツ推進委員の会議において、スポーツイベント実施方法等の検討、及び今後のスポーツ推進委員活動のスポーツ普及についての協議を行った。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・もばらタッチバレーボール千葉県大会やレッツエンジョイスポーツの参加者が固定化傾向にあったが、体験会を開催することによって、新規参加者の導入が見込まれた。 ・多世代が、それぞれのレベルに合わせて、様々なスポーツを身近な地域で親しむことができるよう、茂原市スポレク祭やパラスポーツ教室、キッズ運動能力向上教室等を継続的に実施していくことが必要と考える。 ・スポーツ推進委員会議での検討・協議内容として、魅力的な事業実施の方法等についてのさらなる検討が必要である 		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員会議で協議を行い、より親しみやすく、誰もが参加しやすい安心安全なスポーツイベントを実施する。 ・レッツエンジョイスポーツ等の体験会を様々な時期、時間帯で実施することにより、より多くの人々がスポーツをするきっかけづくりとなる場を提供していく。 	
企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当
体験会の開催等によって、新規参加者の導入を図ったことやスポーツの推進に係るイベント等各種事業の実施により、スポーツ・レクリエーションの推進に一定の成果があったと認められる。多世代が、それぞれのレベルに合わせて、参加しやすいイベントの検討および事業実施方法の検討に努めていただきたい。	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	1	生涯学習	芸術文化の振興
実施計画事業名					
文化祭開催事業					

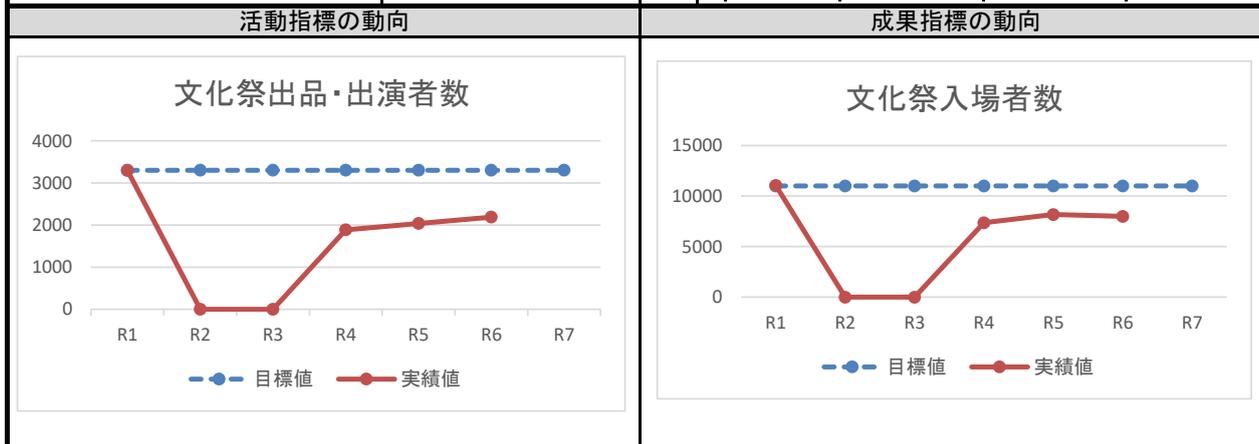
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	01	09	文化祭開催事業	
担当課・係等					
生涯学習課 文化係					

実施計画整理番号	
104020101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	文化活動の成果の発表の場を提供し、市民の文化意識の向上を図る。	茂原市文化協会との共催により文化祭を開催する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	文化祭を実施することにより、市民の文化意識の向上を図り、ひいては施策「芸術文化の振興」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	325	325	73					
国補助		千円									
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	325	325	73						
	人工数	人	0.9			0.7					
	人件費	千円	6,895			5,589					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
美術館・郷土資料館ほか10会場にて開催する。	文化祭出品・出演者数	目標値	3,300	3,300	3,300	3,300
		実績値	1,885	2,038	2,187	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
教育委員会と文化協会が共催することで、市民の芸術文化活動が推進されるとともに文化意識の向上が図られる。	文化祭入場者数	目標値	11,000	11,000	11,000	11,000
		実績値	7,370	8,168	8,005	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	4	2	1	文化祭開催事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	09	文化祭開催事業

整理番号
104020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	令和6年10月27日から12月1日の期間、文化祭が開催され、11月3日には各会場を市長他5名にて巡回が行われ、参加者を労いました。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
雨天による中止の事業があった。			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	令和6年度から事業予算はないが、創意工夫しながら文化祭を継続していく。	
	企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	文化祭の開催により、芸術文化の振興に一定の成果があったと認められる。現在の財政状況の中での文化祭の継続方法については、検討していただきたい。

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	1	文化芸術	芸術文化の振興
実施計画事業名					
美術館展示事業					

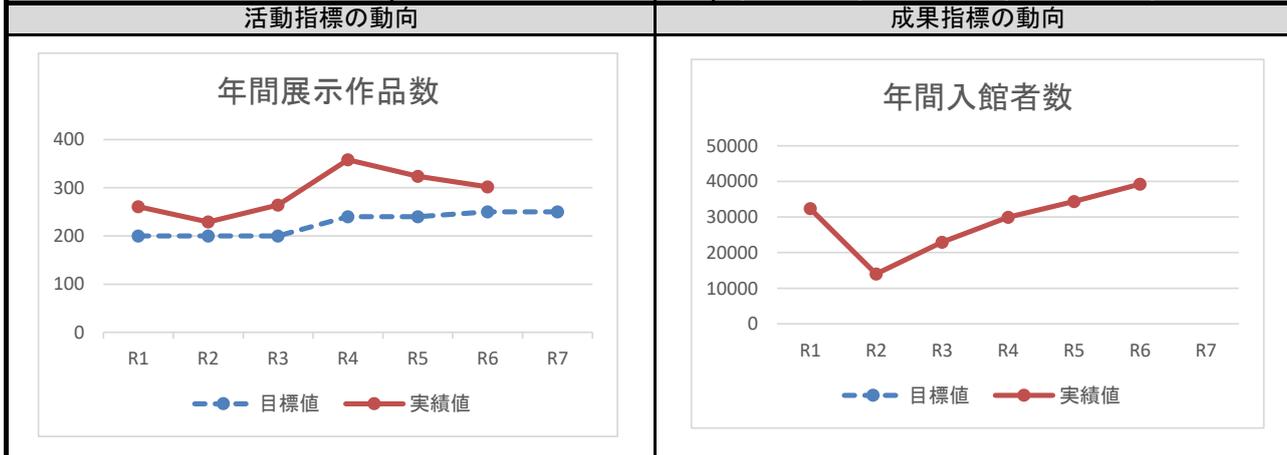
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	05	01	美術館展示事業	
担当課・係等					
美術館・郷土資料館 管理係					

実施計画整理番号	
104020102	
総合戦略整理番号	32301

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	芸術文化に触れ、鑑賞できる機会を広く市民に提供し、地域の芸術文化の充実と振興を図る。	地域ゆかりの作家の作品について周知を図るため、収蔵品展を開催する。令和6年度には、新たに寄贈を受けた王子江の大作の展示をはじめ、郷土を代表する作家の展覧会を開催する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	美術品を収集し、研究した成果を展示に活用して、広く市民に公開することは、施策「芸術文化の振興」に寄与するものである。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,464	2,464	2,100						
	国補助	千円									
	県補助	千円		1,225	1,043						
	市債	千円									
	その他	千円	523	555	654						
	一般財源	千円	1,941	684	403						
	人工数	人	0.6			0.4					
	人件費	千円	4,597			3,194					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
美術収蔵品展、企画展等の開催により、美術収蔵品または他館の美術品を、広く市民に展示公開する。展示作品数を増加し、内容の充実した展示を開催することは、リピーターを含めた来館者の増加につながると考えている。	年間展示作品数	点	240	240	250	250
		実績値	358	324	302	
	バーチャルミュージアム映像配信回数	回	8	7	24	24
		実績値	12	28	30	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市民が芸術文化に触れ、鑑賞できる機会が創出される。	年間入館者数	人	増加を 目指します	増加を 目指 します	増加を 目指 します	増加を 目指 します
		実績値	29,926	34,332	39,234	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	4	2	1	美術館展示事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	01	美術館展示事業

整理番号
104020102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>すべての収蔵品展、文化祭、共催展示等の展覧会を、計画通りに開催した。美術収蔵品展においては、新収蔵となった王子江の大作の展示をはじめ、郷土を代表する洋画家の石井伝三、日本画家の林功などの展覧会を開催した。郷土の代表的な美術品について紹介するとともに、年間展示作品数の目標値を上回ることができた。市公式ウェブサイトや広報もばら、地域情報誌、各新聞社への情報提供、PR活動により、来館者数はコロナ禍以前の水準に回復しつつある。バーチャルミュージアムの映像配信については、収蔵品展、共催展示に加えて、市民ギャラリーの利用者に対しても配信を始め、展覧会の主催者から好評を得ており、再生回数を伸ばしている。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数は、年々増加傾向で、コロナ禍以前の水準に達しつつある。収蔵品展、共催展示等の開催により、広く来館者に、地域の芸術文化に触れる機会を提供できたことは、意義があったと考えている。 ・展覧会場に設置する作品解説のプレートの分量が増加しており、今後は、解説の作成、修正、掲示作業にコストと労力のかからない方策が必要である。 		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	①業務の整理・統合・集約化
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・展示作品数、バーチャルミュージアム映像の配信を一つの指標にするとともに、新たに寄贈を受けた美術品を展示に活用して、来館者の増加につながる事業を継続してゆく。 ・作品解説プレートについては、透明フォルダを用いるなどして、今後、コストと労力のかからない方式に改善する。 	
	企画政策課の評価	評価理由
	B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>各種展示を実施し、年間入館者数についても増加しており、芸術文化の振興に一定の成果があったと認められる。バーチャルミュージアムの映像配信等を活用し、来館者の増加につながる事業の継続に努めていきたい。</p>

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	1	文化芸術	芸術文化の振興
実施計画事業名					
芸術文化講座事業					

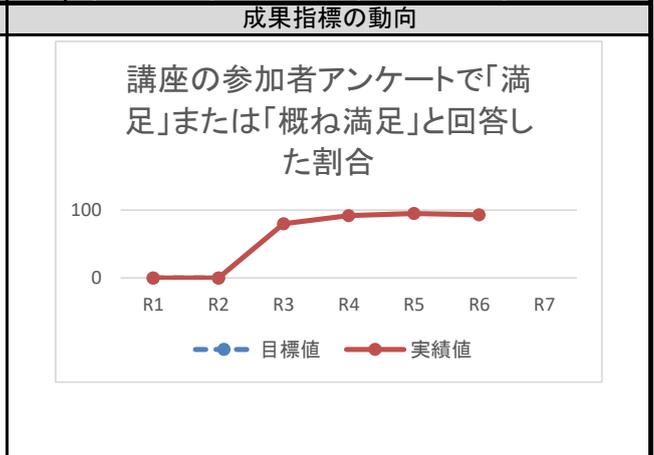
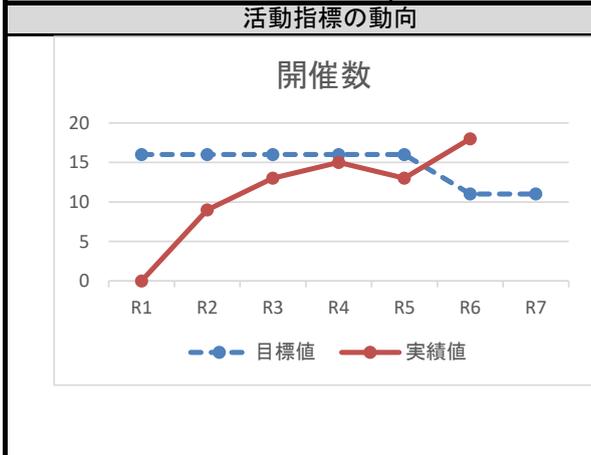
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	05	03	芸術文化講座事業	
担当課・係等					
美術館・郷土資料館 管理係					

実施計画整理番号	
104020103	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	講座を受ける機会を広く市民に提供することで、市民が芸術文化と郷土の伝統文化に触れる機会を創出する。	美術館では、美術実技講座、学芸員による展示解説会、バックヤードツアー等を開催する。 郷土資料館では、歴史セミナー、古文書講座を開催する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
芸術文化、郷土の伝統文化について学習できる機会を提供することは、施策「芸術文化の振興」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	106	106	99						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	106	106	99						
	人工数	人	0.25			0.3					
	人件費	千円	1,717			2,110					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
(美術館) 美術実技講座3回、学芸員による展示解説会4回、バックヤードツアー1回 (郷土資料館) 歴史セミナー2回、古文書講座5回、親子で学ぶ歴史講座1回を開催し、広く市民に、芸術文化と郷土の伝統文化について学習できる機会を提供する。	開催数	回	16	16	11	11
		実績値	15	13	18	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市民が芸術文化と郷土の伝統文化に触れる機会を創出するとともに、芸術文化の振興が図られる。	講座の参加者アンケートで「満足」または「概ね満足」と回答した割合	%	増加を目標します	増加を目標します	増加を目標します	増加を目標します
		実績値	92	95	93	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	4	2	1	芸術文化講座事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	03	芸術文化講座事業

整理番号
104020103

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>(美術館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術実技講座 計画どおり全3回開催。(3回の定員36名のところ、合計参加者延べ32名 場所:美術館実習室) ・学芸員による展示解説会(美術収藏品展) 計4回開催、参加者54名 ・バックヤードツアー(美術館収蔵庫見学会、秘書広報課主催)計2回、参加者数40名 ・作者による展示解説会 計1回、参加者数34名 <p>(郷土資料館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文書講座 計画どおり全5回を開催、合計参加者数延べ129名 場所:庁舎102会議室 ・歴史セミナー 計画どおり全2回を開催、参加者数延べ49名 場所:美術館実習室 ・親子で学ぶ歴史講座1回 参加者数1組2名 場所:美術館 		
	hito	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は、講師謝礼の予算が無い中で、講師を引き受けてくださる方に依頼して実施したが、今後の事業継続のためには、予算の確保が課題である。 ・小学生向けの美術実技講座は、暑い時期を避け、親子で参加できる講座を実施し、好評であった。 ・親子で学ぶ歴史講座は、参加者が少なかった。子どもだけでなく、親に興味を持ってもらえるPRが必要。 ・学芸員による展示解説会、バックヤードツアーが好評であった。 ・「古文書講座」は、受講者数が多いため、庁舎の会議室を利用して開催しており、会場の確保が課題である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館、郷土資料館の各講座とも、計画どおり事業を継続する。特に学芸員の展示解説会、バックヤードツアーについては、回数を増やし、来館者が芸術文化について鑑賞できる機会を増やす。 ・「古文書講座」は、講師との日程調整を図りながら、庁舎の会議室を確保して開催する。 ・親子で学ぶ歴史講座は、親子ともに参加を促すよう、PRを工夫する必要がある。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>各種講座の開催により、芸術文化の振興に一定の成果があったと認められる。引き続き、幅広い世代に向けた学習機会の提供に努めるとともに、講座の内容や開催方法・時期についても検討していただき、満足度の高い講座の開催に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	2	生涯学習	芸術文化の振興
実施計画事業名					
文化振興事業					

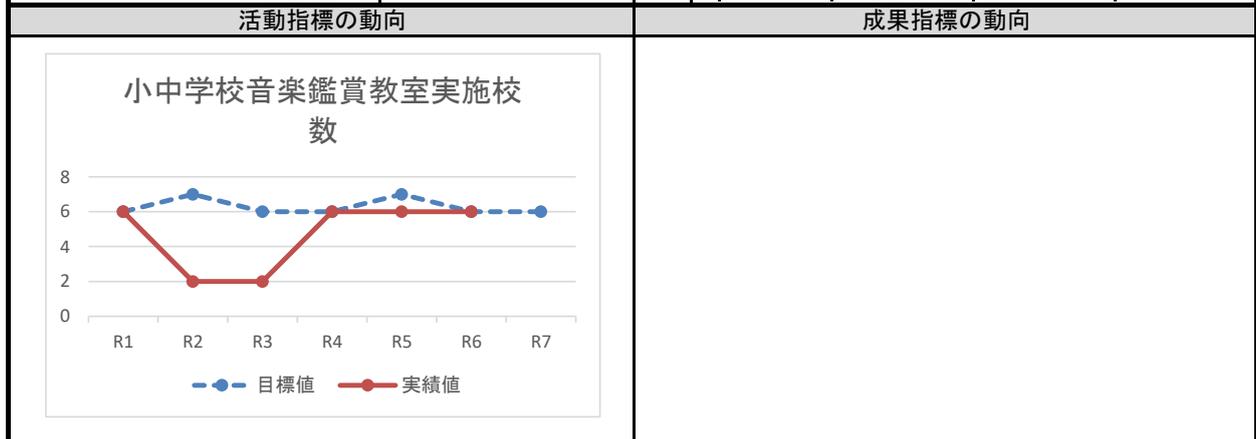
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	01	08	文化振興事業	
担当課・係等					
生涯学習課 文化係					

実施計画整理番号
104020201
総合戦略 整理番号

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	本市の文化振興を図るため、市民が身近に芸術文化を实践できるようにするとともに、生活する上で心の豊かさが育まれることを目指す。	・小中学校音楽鑑賞教室や芸術文化鑑賞会などの芸術文化事業を実施する。 ・各文化関係団体の活動を支援することで、組織の活動の強化を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
文化関係団体等の活動を支援することで組織活動の強化を図るとともに、芸術文化事業を推進することにより、施策「芸術文化の振興」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,778	3,778	3,243	3,698	4,074	3,127			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	2,359	2,359	1,984	2,359	2,735	1,938			
	一般財源	千円	1,419	1,419	1,259	1,339	1,339	1,189			
	人工数	人	0.4			0.4					
	人件費	千円	3,064			3,194					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
・小中学校音楽鑑賞教室の支援を行う。 ・各文化関係団体の活動を支援する。	小中学校音楽鑑賞教室実施校数	校	目標値	6	7	6	6
		実績値	6	6	6		
		目標値					
		実績値					
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
市民が身近に芸術文化活動を実践できるようにするとともに、生活する上で心の豊かさが育まれることを目指す。		目標値					
		実績値					



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	4	2	2	文化振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	08	文化振興事業

整理番号
104020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校音楽鑑賞教室を6校中6校で実施することができた。 ・文化関係団体の活動を支援することで、各種団体の相互理解が図られた。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校音楽鑑賞教室については、学校の意見を聞きながら事業の充実を図る。 ・市民の文化活動の意欲の向上と発表の場を確保する。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校音楽鑑賞教室については、市内演奏家の積極的な活用に努めていく。 ・茂原市文化協会が主体となり文化祭等を開催し参加者及び来場者の増加に努めていく。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>芸術文化事業の推進により、芸術文化の振興に一定の成果があったと認められる。引き続き、市民の文化活動意欲の向上と発表の場確保など適正な支援に努めるとともに、小中学校音楽鑑賞教室については、市内演奏家の積極的な活用を行っていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	3	1	生涯学習	伝統・文化の維持継承・振興
実施計画事業名					
文化財保護保存事業					

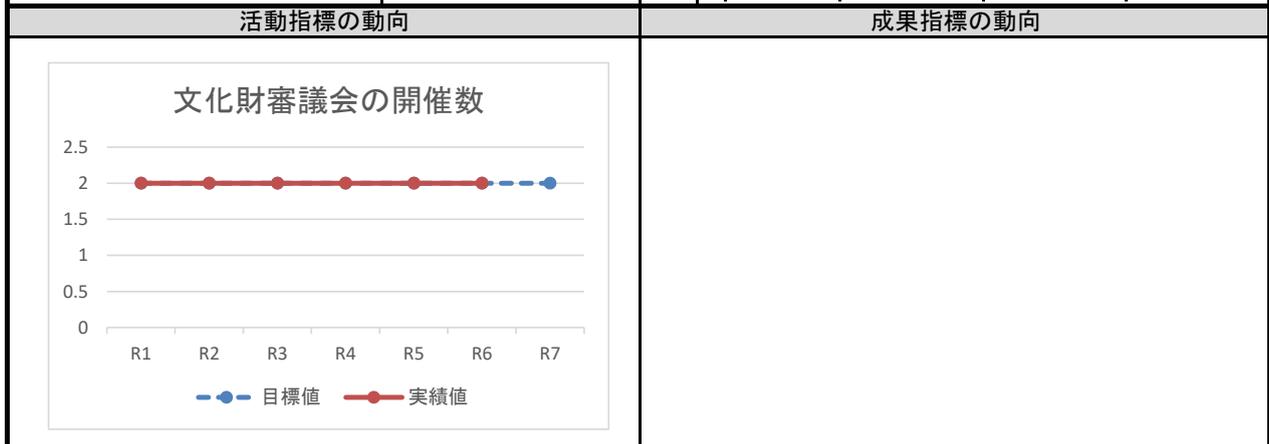
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	01	10	文化財保護保存事業	
担当課・係等					
生涯学習課 文化係					

実施計画整理番号	
104030101	
総合戦略整理番号	32302

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	文化遺産である文化財を後世に伝え、有効活用することにより、市民の文化財に対する理解が深まり、郷土愛が高まることを目指す。	茂原市文化財審議会の開催、指定文化財等の保護・保存、郷土芸能等保存団体の活動支援を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	文化財審議会を開催し、指定文化財等の保護・保存を行うことにより、施策「伝統文化の維持継承・振興」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	943	943	790	913	920	767			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円	32	32	40	32	32	19			
	市債	千円									
	その他	千円	60	60	57	60	60	50			
	一般財源	千円	851	851	693	821	828	698			
人工数	人		1.3			1.3					
人件費	千円		9,960			10,381					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
文化財審議会の開催 指定文化財等の保護・保存	文化財審議会の開催数	回	2	2	2	2
		実績値	2	2	2	
	市指定文化財登録件数(累計)	件	増加を目標します	増加を目標します	増加を目標します	増加を目標します
		実績値	56	56	56	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市民の文化財に対する理解が深まり、郷土愛が高まることを目指す。		目標値				
		実績値				



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	4	3	1	文化財保護保存事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	10	文化財保護保存事業

整理番号
104030101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	茂原市文化財審議会の開催、指定文化財等の保護・保存活動、外来生物の駆除等を行った。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財等の保護・保存活動において、特にアライグマ等の外来生物による被害は深刻であり引き続き注意を払う必要がある。 ・郷土芸能保存団体については、後継者不足が課題である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財等の保護・保存活動については、関係機関の協力を得て引き続き外来生物の駆除を実施し。環境整備に努めていく。 ・郷土芸能の保護・継承については、後継者不足の深刻化等により保存継承が課題となっていることから、活動を映像記録に残すなど様々な方法を検討し、先を見据えた支援に努めていく。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p style="margin-top: 10px;">指定文化財等の保護・保存により、伝統文化の維持継承・振興に一定の成果があったと認められる。郷土芸能の保護・継承では、活動を映像記録に残すなど様々な方法の検討に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	3	2	文化芸術	伝統・文化の維持継承・振興
実施計画事業名					
郷土資料館展示事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	05	02	郷土資料館展示事業	
担当課・係等					
美術館・郷土資料館 管理係					

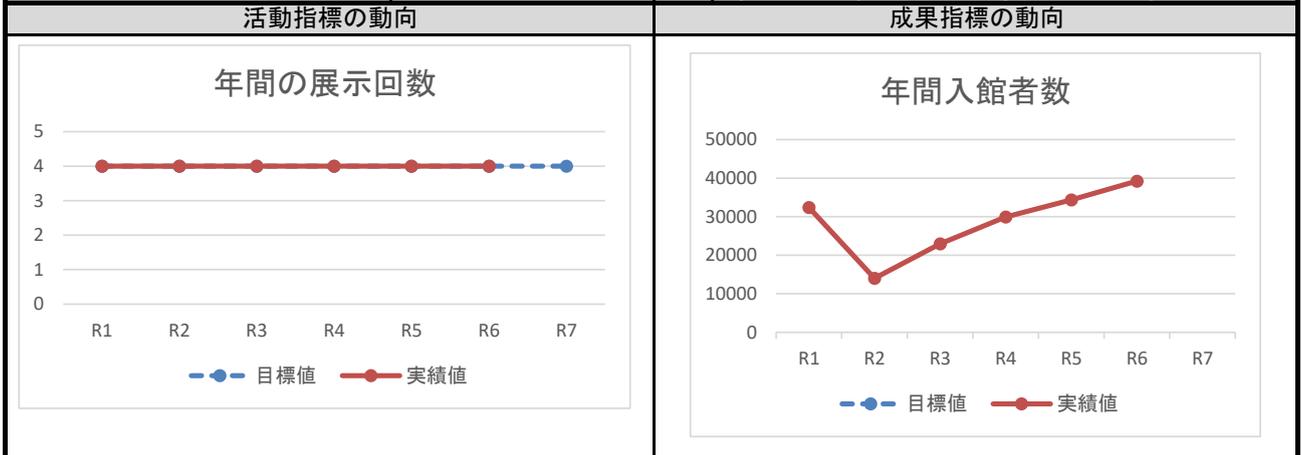
実施計画整理番号	
104030201	
総合戦略整理番号	32303

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	市民が歴史文化に触れ、学習できる機会が創出されるとともに、地域の伝統文化の振興を図る。	郷土の歴史について周知を図るため、地域を代表する遺跡の出土品や産業、交通を中心とした常設展示の他、市史編さん事業での調査の成果を活かしたテーマ展を開催する。また、小中学校への出前講座や、学校からの見学対応を行い、学校教育にも寄与する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

市史編さん事業での資料調査等から発見された考古・歴史・民俗等の郷土資料を収集し、研究した成果を活用して、広く市民に公開することは、施策「伝統文化の維持継承・振興」に寄与するものである。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	22	22	22						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	22	22	22						
	人工数	人	0.3			0.4					
	人件費	千円	2,100			3,194					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市史編さん事業や郷土資料館事業の中で収集した茂原に関する資料を広く市民に展示公開し、また、出前講座や学校の課外授業等と呼び込むことで来館者の増加に努める。	年間の展示回数	目標値	4	4	4	4
		実績値	4	4	4	
	出前講座・課外授業の回数	目標値	3	3	3	3
		実績値	3	6	2	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市民が歴史文化に触れ、学習できる機会が創出されるとともに、地域の伝統文化の振興を図る。	年間入館者数	目標値	増加を指します	増加を指します	増加を指します	増加を指します
		実績値	29,926	34,332	39,234	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	4	3	2	郷土資料館展示事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	02	郷土資料館展示事業

整理番号
104030201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>郷土資料館では、テーマ展、常設展示等により、市内の遺跡の出土品をはじめ、天然ガスについてのビデオコーナー、養蚕道具や農機具、そして、県指定文化財である「人車(じんしゃ)」、「国府関遺跡出土の木製品」、「一宮藩の大砲」を展示している。</p> <p>市公式ウェブサイトや広報もばら、地域情報誌、各新聞社への情報提供、PR活動により、来館者数はコロナ禍以前の水準に回復しつつある。</p> <p>また、小中学校への出前講座や、学校からの見学対応を行い、学校教育にも寄与した。</p> <p>出前講座(生涯学習課主催) 全2回 参加者数計53名 場所:小学校2校</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>市民が歴史文化に触れ、学習できる機会の創出と、地域の伝統文化の振興に寄与していると考えられ、また、新聞等にも大きく取り上げられていることから、今後も事業を継続してゆく。</p> <p>常設展示については、長年入れ替えを行っていないことから、展示の見直しや配置替えが望まれる。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	①業務の整理・統合・集約化
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>壁面の展示ケースの再活用等による、展示の配置替えを行い、より市民に親しまれ、理解のしやすい展示となるよう工夫を凝らして、収集した資料の公開、展示を実施していく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>出前講座や郷土資料の展示を通じて、市民が郷土の歴史文化に触れ、学習できる機会の創出を行うことは、伝統文化の維持継承・振興に寄与していると考えられる。展示方法の工夫など、より市民に親しまれ、理解のしやすい展示となるよう努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	3	2	文化芸術	伝統・文化の維持継承・振興
実施計画事業名					
市史編纂事業					

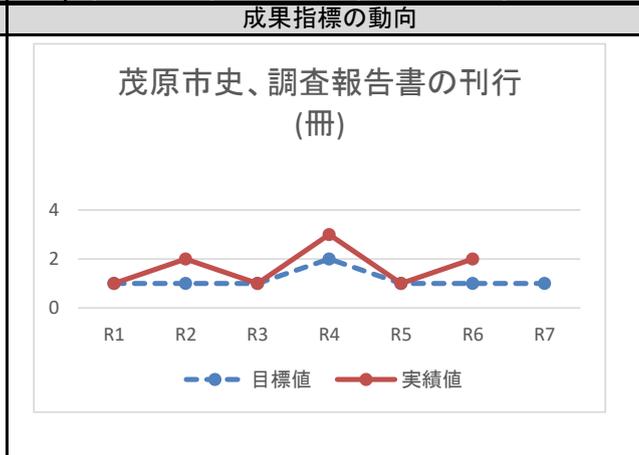
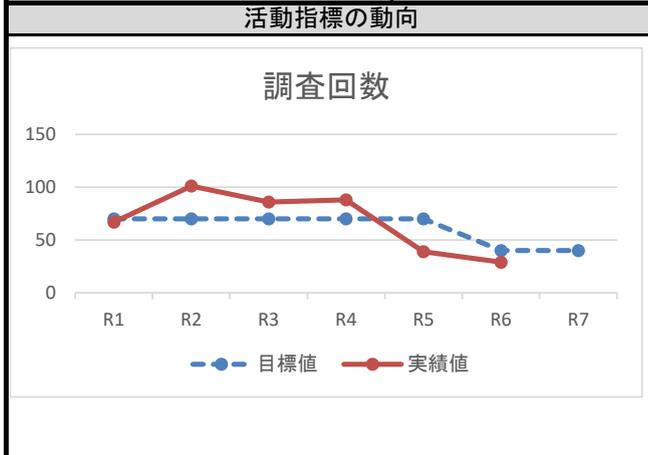
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	05	07	市史編纂事業	
担当課・係等					
美術館・郷土資料館 管理係					

実施計画整理番号	
104030202	
総合戦略整理番号	32304

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	市制施行70周年(令和4年度)から市史の刊行を開始し、茂原市の歴史の変遷を明らかにしていくとともに、郷土愛を育み、後世に市の歴史を継承する。	市史編さん委員会の開催、市の内外にある茂原市に関する歴史民俗資料の調査、市史の原稿執筆依頼、調査報告書の印刷及び市史の刊行を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市制施行70周年を記念して令和4年度に新しい市史の1冊目を刊行し、2冊目以降も今後順次刊行する。調査・研究の成果を市史に掲載して広く市民に公開することは、施策「伝統文化の維持継承・振興」に寄与するものである。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,499	3,499	2,218	2,854	2,854	1,986			
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	760	760	287	703	703	55			
	一般財源	千円	2,739	2,739	1,931	2,151	2,151	1,931			
	人工数	人	1.5			1.45					
	人件費	千円	8,319			9,012					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
令和4年度に1冊目の『茂原市史資料編I(原始・古代、中世考古)』を刊行した。引き続き2冊目以降の刊行に向けて、調査、原稿の編集作業を進めていく。	市史編さん委員会回数	目標値	4	4	4	4
		実績値	4	4	3	
	調査回数	目標値	70	70	40	40
		実績値	88	39	29	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市民の郷土愛を育み、後世に市の歴史を継承していく。	計画的な茂原市史、調査報告書の刊行	目標値	2	1	1	1
		実績値	3	1	2	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	4	3	2	市史編纂事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	07	市史編纂事業

整理番号
104030202

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>茂原市史の2冊目として刊行予定である仮称『茂原市史資料編Ⅱ(中世)』の刊行に向けて、市史編さん委員会を開催し、調査、原稿の編集作業等を進めた。また、茂原市史調査報告書第十集『茂原市古文書目録集(その十二)と代表的史料』、『茂原市史資料編Ⅰ(原始・古代、中世考古)補足資料2』を発行した。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
<p>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>財政状況が厳しいなか、2冊目以降も刊行計画に沿って市史を刊行していく必要がある。長期にわたる事業のため、事業が停滞してしまうと、編さん委員、調査執筆委員の年齢やモチベーションの問題があり、後々市史の刊行に影響があるため、予算の確保が最重要課題である。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・刊行計画に沿った市史刊行のため、財政部局と協議しながら、予算の確保に務めていく。 ・当館で収蔵している資料のほか、寺社や公共機関等の協力者と連携しながら引き続き市史調査を実施していく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
<p>B</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>市史編纂に係る事業の実施により、伝統文化の維持継承・振興に一定の成果があるものと認められる。関係各所と協議・連携しながら事業実施をしていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	5	1	1	青少年健全育成と家庭教育	青少年健全育成の充実
実施計画事業名					
青少年健全育成事業					

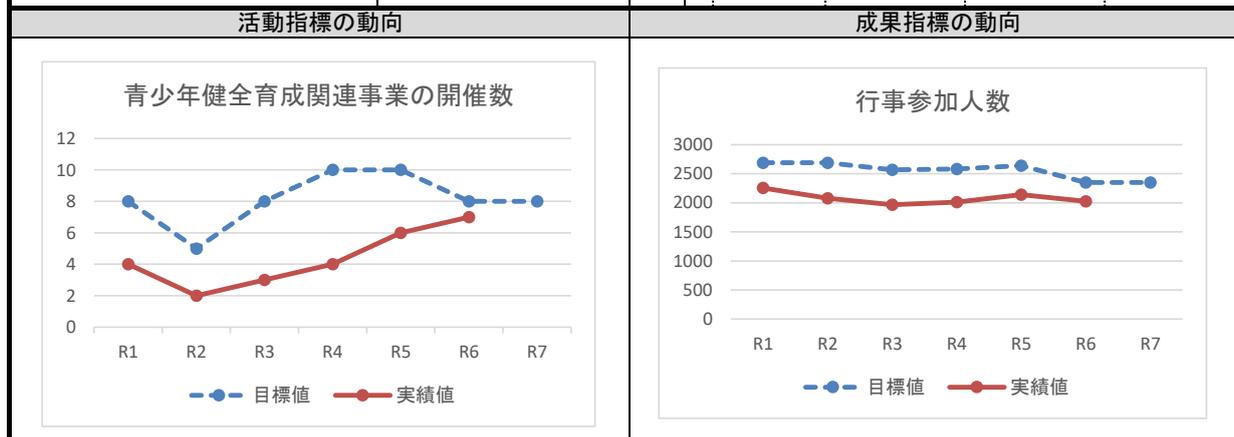
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	01	04	青少年健全育成事業	
担当課・係等					
生涯学習課 社会教育係					

実施計画整理番号	
105010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	青少年育成団体を支援することで、多くの青少年に活躍の機会が提供され、青少年の健全育成が図られることを目指す。	青少年育成団体(青少年相談員連絡協議会、青少年育成茂原市民会議、茂原少年少女発明クラブ、茂原市子どもセンター協議会)に補助金を交付するとともに、事務局として運営を支える。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	青少年の育成は地域全体で行っていく必要がある。各種団体の支援を通じて地域住民と連携することにより青少年の健全育成を図り、ひいては施策「青少年健全育成の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,065	2,065	2,034	1,953	1,953	1,940			
	国補助	千円									
	県補助	千円	360	360	360	360	360	360			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,705	1,705	1,674	1,593	1,593	1,580			
	人工数	人	1			1					
	人件費	千円	7,662			7,985					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
青少年育成団体の活性化を図るため、補助金交付により財政面を、生涯学習課が事務局を担うことにより運営面を支援する。 また、青少年を取り巻く諸問題について青少年問題協議会で情報交換を行う。	活動を支援した団体数	団体	目標値 3	3	2	2
		実績値 3	2	2		
	青少年健全育成関連事業の開催数	回	目標値 10	10	8	8
		実績値 4	6	7		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
行事の実施により、多くの青少年に活躍の機会が提供され、青少年の健全育成が図られる。	行事参加人数	人	目標値 2,580	2,640	2,350	2,350
		実績値 1,879	2,142	2,025		



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	5	1	1	青少年健全育成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	04	青少年健全育成事業

整理番号
105010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・青少年の健全育成を図るため、関係団体に補助金を交付し活動を支援した。</p> <p>①青少年相談員連絡協議会 922千円(実施:写真コンテスト、タッチバレーボール交流大会、つつじマラソン大会、夜間パトロール等)</p> <p>②青少年育成茂原市民会議 986千円(実施:標語コンクール、タッチバレーボール交流大会、少年の主張大会等)</p> <p>※タッチバレーボール交流大会は2団体の共催事業</p> <p>・青少年問題協議会を開催(1回)</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・各団体は計画した行事を開催できた。昨年度には雨天により中止となっていた青少年相談員連絡協議会事業のつつじマラソン大会も開催できた。</p> <p>・教員の働き方改革が進む中、学校への依存度を減らしていく必要があるため、団体同士が連携し、効率的に事業を実施していく必要がある。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・団体の事務局として、青少年相談員連絡協議会、青少年育成茂原市民会議及び茂原市子ども会育成連合会等の連携強化をサポートし、活動の効率化と充実を図る。</p> <p>・社会教育委員に青少年健全育成施策に対する意見を求め、時代に即した体制づくりを検討する。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>青少年育成団体への支援により、青少年の健全育成に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援に努めるとともに、めまぐるしく変容する時代に即した形での事業実施の方法を検討していただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	5	1	2	青少年健全育成と家庭教育	青少年健全育成の充実
実施計画事業名					
青少年相談指導事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	04	01	適切な環境づくりと非行防止事業	
担当課・係等					
青少年指導センター					

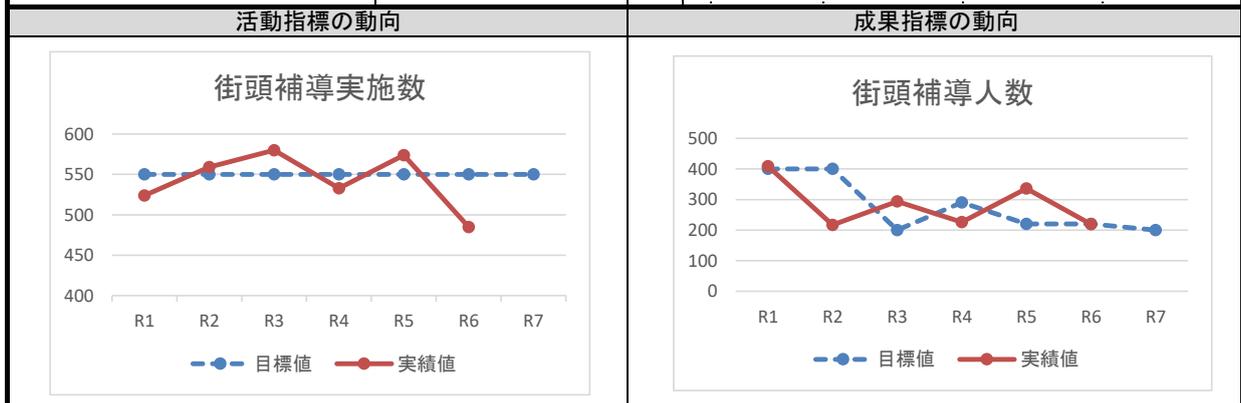
実施計画整理番号	
105010201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>茂原市青少年補導員連絡協議会と連携し、街頭補導、相談事業、青少年に有害な社会環境の浄化活動、啓発活動、児童生徒の安全を確保する活動を推進し、青少年の健全育成に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の街頭補導を充実する。 ・列車補導、県下一斉パトロール等の啓発補導を充実する。 ・他支部との連携や研修会へ補導員とともに積極的に参加する。 ・相談体制を整え、相談事業をより充実する。 ・ネットパトロールを充実する。 ・早朝、薄暮等の登下校時のパトロールを充実する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

青少年を取り巻く環境が急激に変化する中において、青少年が健やかに成長していくためには、地域社会全体で青少年を支えていく環境の整備が必要である。青少年指導センターは、学校や地域、関係機関と連携して補導活動や相談活動、啓発活動に努めることで、青少年の安全確保や非行防止、自立支援につなげ、ひいては施策「青少年健全育成の充実」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	1,377	1,439	1,423	1,426	1,426	1,426			
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円	250	250	250	250	250	250			
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,127	1,189	1,173	1,176	1,176	1,176			
人工数	人		5.9		5.9						
人件費	千円		25,915		35,822						

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
年間を通して、早朝・午前・午後・薄暮・夜間にパトロールや街頭補導を実施することで、青少年の安全確保や非行防止に努める。	街頭補導実施数	件数	維持します	維持します	維持します	維持します
		実績値	533	574	485	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
パトロールや街頭補導の推進により青少年の安全確保や非行防止ひいては青少年の健全育成につなげる。	街頭補導人数	人	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
		実績値	226	336	219	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	5	1	2	青少年相談指導事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	04	01	適切な環境づくりと非行防止事業

整理番号
105010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原市青少年補導員連絡協議会と連携して茂原駅周辺や公園、ゲームセンターなどの青少年がたまりやすい場所での街頭補導を行うことで、青少年の非行防止や安全の確保をすることができた。 ・相談活動では、内容に応じて千葉県警察外房地区少年センターや茂原警察署などの関係機関に橋渡しをすることで、学校や青少年に適切な支援を施すことができた。 ・県民生活課からの情報を活用し、ネットパトロールを実施したことでネット上の被害やトラブルを未然に防ぐことができた。また、啓発用クリアファイルの配付や「スマホ安全教室」の実施により、SNSトラブル防止に向けた啓発をすることができた。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・県内の刑法犯少年数は平成22年から令和4年度まで減少傾向にあったが、令和5年から大幅に増加している。市内青少年においては飲酒、喫煙、深夜徘徊等の非行行動に関する情報提供は増加傾向にあるが、SNSの普及により青少年の生活様式が変化してきているため、青少年の行動を把握することが難しくなっている。 ・スマートフォン所持している子どもたちの低年齢化により、小学生のSNSトラブルが増加傾向にある。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・警察機関や学校などの関係機関と連携し、青少年の非行に関する情報の共有を図る。 ・茂原駅周辺、公園、ゲームセンター等青少年の集まりやすい場所を重点的に巡回し、非行の未然防止に努める。 ・情報モラル教育(スマホ安全教室、SNS教室)を積極的に周知し、小学生から中学生までの発達段階に応じた内容になるよう工夫・改善に努める。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>各種施策により、青少年健全育成に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な事業実施に努めるとともに、事業実施にあたっては、生活様式の変化に対応した事業実施ができるよう検討していただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	5	2	1	青少年健全育成と家庭教育	家庭教育の充実
実施計画事業名					
家庭教育学級開催事業					

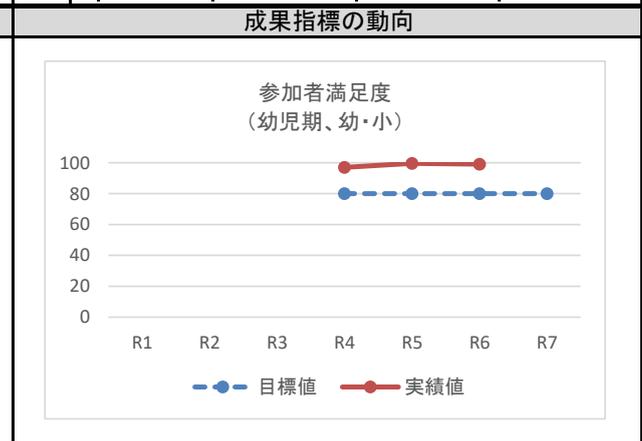
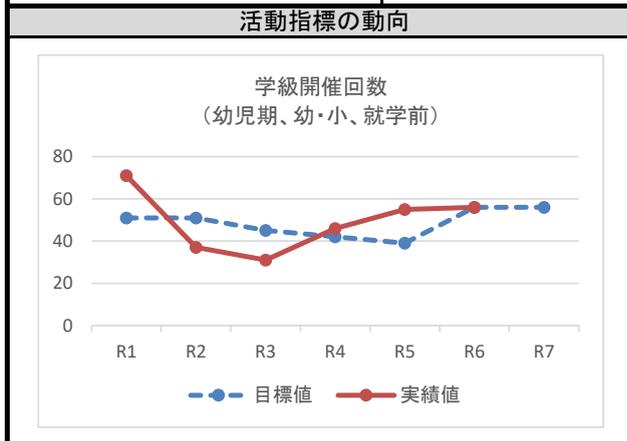
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	01	03	家庭教育学級開催事業	
担当課・係等					
生涯学習課 社会教育係					

実施計画整理番号	
105020101	
総合戦略 整理番号	22101

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>幼児・児童の保護者を対象に、子育てに関する知識や情報を提供する各種講座を開催し、子どもの健やかな成長の一助とする。</p>	<p>3歳児の保護者を対象に「幼児期家庭教育学級」、就学を控えた児童の保護者を対象に「就学時子育て講座」、幼稚園児・小学生の保護者を対象に「家庭教育学級」を開催する。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>家庭教育の重要性に鑑み、子育てに関する啓発及び相談の場の提供は切れ目なく行っていく必要がある。本事業は、子どもの発達段階に応じた講座を提供することで、施策「家庭教育の充実」に寄与している。</p>	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	477	477	260	467	467	245		
国補助		千円									
県補助		千円			170	306	306	161			
市債		千円									
その他		千円									
一般財源		千円	477	477	90	161	161	84			
	人工数	人		1.05		1.05					
	人件費	千円		4,077		5,533					

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
子どもの成長段階に応じた学級を開催することにより、切れ目のない家庭教育支援を行う。	学級開催回数 (幼児期、幼・小、就学前)	目標値	42	39	56	56
		実績値	46	55	56	
	1回あたり参加人数 (幼児期、幼・小、就学前)	目標値	30	30	30	30
		実績値	23	24	25	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
情報の提供及び繋がり場の提供により、家庭教育の充実ひいては子どもの健全育成につなげる。	参加者満足度 (幼児期、幼・小)	目標値	80	80	80	80
		実績値	97	100	99	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	5	2	1	家庭教育学級開催事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	03	家庭教育学級開催事業

整理番号
105020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>3歳児の保護者、就学を控えた子どもの保護者、幼稚園児・小学校児童の保護者と、子どもの成長段階に応じて講座を開催することにより、家庭教育に関する情報提供を切れ目なく行っている。また、情報提供のみならず保護者どうしの繋がりがづくりにも貢献している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期(3歳児)家庭教育学級・・・全5回実施し、延べ50人が参加。託児は延べ43人。 ・幼・小家庭教育学級・・・13学級(幼稚園1園、小学校12校)で39講座実施。889人参加。 ・就学時子育て講座・・・12小学校で実施。461人参加。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期(3歳児)家庭教育学級の参加者は昨年と同数であり、少なかった。コロナ禍の収束に伴い、参加率は少しずつ上昇しているが、依然、コロナ前の水準に戻りきれていない状況が続いている。周知期間、申込期間が短かったことも原因と考えられる。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの学級はいずれもアンケートで大変な好評を得ており、従来の取り組みを継続していく。 ・幼児期(3歳児)家庭教育学級については、周知方法、申込方法の改善、周知期間の延長を検討していく。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>各種学級の開催により、家庭教育の充実に一定の成果があったと認められる。参加者の満足度も高いため、引き続き事業の推進を図るとともに、周知方法、申込方法の改善、周知期間の延長についても検討していただき、参加人数の増加に努めていただきたい。</p>	

令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	6	1	1	国際化	国際化の推進
実施計画事業名					
国際化推進事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	09	02	国際化推進事業	
担当課・係等					
企画政策課 男女共同・国際化係					

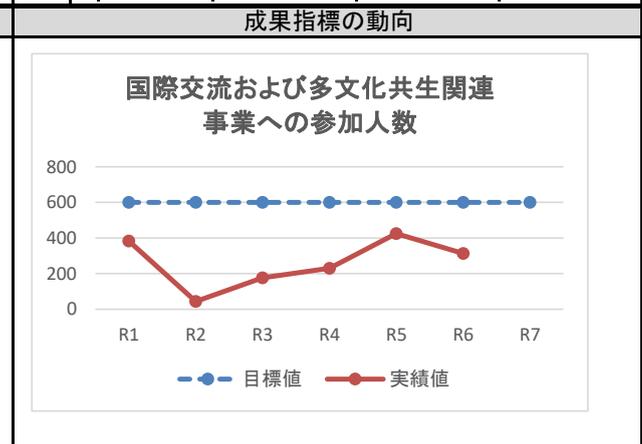
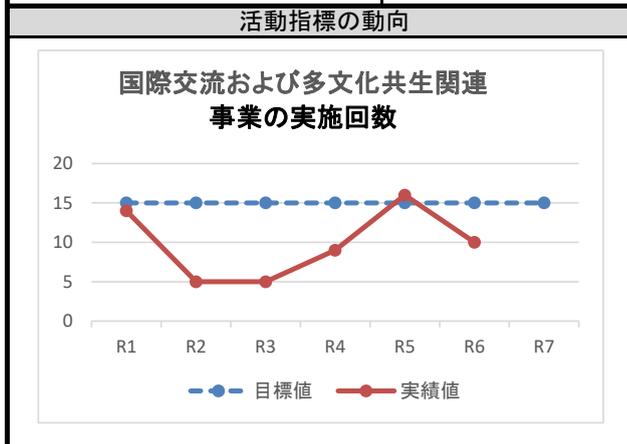
実施計画整理番号	
106010101	
総合戦略 整理番号	

事業 事業の 概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	多くの市民が国際交流活動に参加し、国内外の多様な文化や価値観を受け入れ、国際的な観点で物事を考えることができる国際感覚を身に付ける。また、外国人市民と日本人市民が、お互いの価値観や文化を尊重し合い、安全安心に暮らすことができる。	姉妹都市ソルズベリー市等との交流事業を実施し、市民の参加機会を提供するとともに、異文化理解促進のための情報発信を行う。また、国際交流協会との協働により、在住外国人向けの生活支援講座および交流イベントの開催や、多言語での情報提供を行うとともに、多文化共生社会について等の啓発のための情報発信を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

・姉妹都市交流等を通じて市民が国際交流に参加できる機会を提供し、また、国際交流協会への支援を通じてより多くの交流機会を創出することにより、施策「国際化の推進」における「国際交流活動の推進」に寄与する。
・在住外国人が安全安心に暮らすための支援をするとともに、日本人市民が異文化を理解するための機会を提供することにより、在住外国人施策「国際化の推進」における「多文化共生社会の実現」に寄与する。

投入される 行政コスト (DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	財源内訳	事業費	千円	4,056	5,207	1,731	6,481	6,481	5,257		
国補助		千円									
県補助		千円									
市債		千円									
その他		千円	4,005	5,157	1,681	6,431	6,431	5,207			
一般財源		千円	51	50	50	50	50	50			
	人工数	人		1.15			1.4				
	人件費	千円		8,697			11,180				

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
姉妹都市等との交流事業や在住外国人向け生活支援講座、交流イベントを開催し、市民が参加できる機会を創出し、広く周知するとともに、異文化理解促進および多文化共生社会について等の啓発のための情報発信を行う。	国際交流および多文化共生関連事業の実施回数	目標値	15	15	15	15
		実績値	9	16	10	
	参加機会の周知および啓発のための情報発信回数	目標値	2	2	2	2
		実績値	3	3	10	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
姉妹都市等との交流事業や在住外国人向け生活支援講座、交流イベントに多くの市民が参加できる機会を提供し、ひいては国際感覚や多文化共生の価値観の醸成につなげる。	国際交流および多文化共生関連事業への参加人数	目標値	600	600	600	600
		実績値	231	425	314	



令和6年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	6	1	1	国際化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	02	国際化推進事業

整理番号
106010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>◆茂原市国際交流協会と協働し、以下の事業を実施。新たなイベントを企画し、多くの市民の国際交流の機会を創出できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茂原桜まつり(野点による呈茶、ステージ出演) (参加者61名) ・茂原七夕まつり(ステージ出演) (参加者26名) ・協会広報誌発行 ・相続セミナー(外国人向け) (21名) ・外国語教室(英会話カフェ5名、夏休みこども英語教室13名) ・国際交流バーベキュー(38名) ・国際交流パーティー(91名) ・バスツアー(成田市さくらの山・空の駅さくら館等) (30名) ・各国紹介(太巻き寿司教室) (14名) ・視察研修(JICA地球ひろば及び築地本願寺) (15名) 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>事業の参加者が固定化されている傾向がある。専門部会により事前準備を行う参加者の偏りが見られる。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>より多くの市民に参加してもらえるよう、多くの市民が集まる市の大きな行事(七夕まつりなど)に積極的に参加するなどして協会PRを行うとともに、各事業の周知を協会会員だけでなく、市民全体にできるよう周知方法を工夫する。 茂原市国際交流協会の設立から10年以上経過しているため、各部会の活動内容の見直しを検討する。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>茂原市国際交流協会の事務局として国際交流に係る各種イベントを開催することで、国際化の推進に一定の効果があったと認められる。引き続き、参加者の拡大の向け、イベントの効果的な周知方法について検討していただきたい。</p>	